令和４年度

２級 舗装施工管理技術者資格試験

受験の手引き

受付期間：令和４年２月１４日（月）
～２月２５日（金）

試 験 日：令和４年６月２６日（日）

目　　次

1. 舗装施工管理技術者資格試験の概要…… 2
2. ２級舗装施工管理技術者の資格取得まで…… 2
3. ２級舗装施工管理技術者資格試験の受験資格…… 3
4. 試験の日時および試験内容…… 4
5. 試験地…… 5
6. 受験手数料…… 5
7. 受験申込時に必要な書類…… 5
8. 受験申込の受付…… 6
9. 受験票の送付…… 6
10. 受験地の変更 …… 7
11. 住所等の変更 …… 7
12. 受験の辞退 …… 7
13. 受験にあたっての注意 …… 7
14. 合格発表 …… 8
15. 登録申請 …… 8

※　参考（出題範囲等）…… 9
※　各種届出書類…… 10

指定学科・専修学校等について……別冊

一般社団法人 日本道路建設業協会

この手引きは、申込書類の作成から合格発表までの間必要となりますので、
大切に保管して下さい。

一般社団法人 日本道路建設業協会の個人情報保護 基本方針

一般社団法人 日本道路建設業協会(以下「協会」という。)は、個人情報の適正な取扱いの確保に努めるため、国土交通省所管分野における個人情報に関するガイドライン(平成16年12月2日国土交通省告示第1500号)の趣旨に基づき本指針等を作成し、個人情報に関する法令及びその他の規範を遵守します。

１．個人情報の利用目的

協会が収集する個人情報の利用目的は次のとおりです。

ここに定めない目的で収集する場合は、その際に、利用目的を明示します。

（1）道路技術及び道路用資材に関する調査研究のため
（2）道路に関する試験・研修実施のため
（3）道路に関する技術の指導、受託のため
（4）道路建設行政及び道路技術に関する情報の収集整理及び提供のため
（5）舗装診断士、舗装施工管理技術者資格試験等実施のため
（6）各種契約管理のため
（7）役職員等の人事管理、連絡及び施設、機器の管理のため

２．個人情報の公開

協会では、個人情報は業務上必要がある場合にのみ利用し、外部に提供することはありません。ただし、法令により開示の要請がある場合に限り、個人情報を提供する場合があります。

３．個人情報の提供

協会が発行する舗装施工管理技術者資格者証の情報（資格区分、登録番号、氏名、生年月日、取得年月日、所属等）及び舗装診断士資格者証の情報（登録番号、氏名、生年月日、取得年月日、所属等）は、公共工事の発注者（国、地方自治体、特殊法人等公的機関）において、建設業者の資格審査や業務実施体制の確認等を目的として利用されます。

上記以外の個人情報は、本人の同意を得て名簿を発行する場合を除き、第三者に提供することはいたしません。

４．個人情報の管理

協会は個人情報保護管理責任者を置き、協会全体の個人情報の管理を適切な安全管理措置を講じて、個人情報の漏洩、紛失、毀損または個人情報への不正アクセス等の防止に努めます。

また、個人情報を、利用目的遂行のために業務を委託する場合は、個人情報の取扱に関する委託先の適正な管理・監督を行います。

５．個人情報の開示、訂正、削除

登録されている個人情報について、本人から開示、訂正、削除の請求があった場合は、速やかに対応します。また、保有する必要がなくなった個人情報は速やかに廃棄します。

個人情報保護担当窓口

一般社団法人　日本道路建設業協会 総務部

TEL：03-3537-3056

E-mail： jrca@dohkenkyo.or.jp

(E-mailは不定期に変更する可能性があります。お気をつけ下さい。)

１．舗装施工管理技術者資格試験の概要

舗装施工管理技術者資格試験は、舗装工事に携わる技術者の水準および能力を適切に評価することによって、より品質の高い安定した舗装工事の施工を図ることを目的として、(一社)日本道路建設業協会が実施するものです。

２級舗装施工管理技術者資格試験に合格し、登録申請を行うことにより、(一社)日本道路建設業協会会長から資格者証が交付され、２級舗装施工管理技術者と称することができます。

当試験は、不正行為に対する罰則を設けています。不正の手段によって試験を受け、または受けようとした者は、合格の決定を取り消し、またはその試験を受けることを禁止します。この処分を受けた者は、その後２年間は資格試験の受験を禁止するとともに、既に舗装施工管理技術者の資格を登録している場合は、その登録を抹消します。

２．２級舗装施工管理技術者の資格取得まで

２級舗装施工管理技術者の受験申込から資格取得までを令和４年度の予定に沿って以下に示します。

受験申込書の作成　・令和４年２月１日（火）10:00 頃～２月２５日（金）17:00 まで

・当協会ホームページ（http://www.dohkenkyo.or.jp）上に設置の「舗装技術者資格　各種申込書類作成システム」を利用し、受験申込書を作成・印刷して下さい。（紙の受験申込書の販売は行いません。）

受験申込　・令和４年２月１４日（月）　～　２月２５日（金）（締切日の消印有効）

・個人別に簡易書留郵便で申し込んで下さい。（P．６参照）

受験票の送付　・令和４年６月１３日（月）頃

・申込者本人宛に送付します。（P．６参照）

試験の実施　・令和４年６月２６日（日）

・全国 10 都市で実施します。（P．５参照）

合格発表　・令和４年１０月２６日（水）

・合格者の受験番号をホームページ等で発表します。（P．８参照）

合格通知等

・合格者および一般試験のみ合格者には、その通知を合格発表日に発送します。（P．８参照）

・合格者には、登録の案内を合格通知書に同封します。（P．８参照）

資格者証交付　・令和５年３月下旬

・登録を申請した方には、資格者証を送付します。（P．８参照）

３．２級舗装施工管理技術者資格試験の受験資格

（１）受験資格の区分

次表に示す**区分**①、②、③のいずれかに該当する方が受験できます。**区分**に応じて提出する書類が異なりますので注意して下さい。（**Ｐ．５～６受験申込時に必要な書類**を参照）

区分	学歴 注3) または取得資格等	**舗装施工管理に関する実務経験の必要年数** 注1)	
		指定学科 注2)	指定学科以外
①	大学卒業者 専門学校卒業者のうち「高度専門士」と称する者	卒業後**１年以上** の実務経験を有する者	卒業後**１年６ヵ月以上** の実務経験を有する者
	短期大学卒業者 高等専門学校（５年制）卒業者 専門学校卒業者のうち「専門士」と称する者	卒業後**２年以上** の実務経験を有する者	卒業後**３年以上** の実務経験を有する者
	高等学校卒業者	卒業後**３年以上** の実務経験を有する者	卒業後**４年６ヵ月以上** の実務経験を有する者
	上記以外の者	**８年以上**の実務経験を有する者	
②	技術士（建設部門）二次試験合格者 １級土木施工管理技術検定合格者 １級建設機械施工技術検定合格者 ２級土木施工管理技術検定合格者 ２級建設機械施工技術検定合格者	実務経験を有する者 （ただし年数は問わない 注4)）	
③	**令和３年度**２級舗装施工管理技術者資格試験の**一般試験に合格**し、令和４年度の受験申込時に**一般試験免除申請**を行い、応用試験のみで受験する者		

注１）舗装施工管理に関する実務経験については、Ｐ．４を参照して下さい。
受験区分①・③では、実務経験（上段）と指導監督的実務経験（下段）の両方が必要年数を満たしていないと受験できません。
高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定を含む）合格者は、高等学校指定学科以外卒業とみなされます。合格証明書が必要です（コピー不可）。

注２）指定学科については、**別冊「指定学科・専修学校等一覧」**を参照して下さい。

注３）専修学校については、**別冊「指定学科・専修学校等一覧」**を参照して下さい。
高度専門士および専門士については**別冊「指定学科・専修学校等一覧」**を参照して下さい。

注４）実務経験年数の期間は問いませんが、**実務経験証明書については、**舗装工事１**件以上の実務経験を必ず記入**して下さい。

注５）**応用試験のみを受験**するためには、**一般試験免除申請**を行い、**区分③で受験申込**をする必要があります。一般試験合格者であっても、一般試験免除申請を行わず、区分③以外で受験申込をした方は、一般試験から受験しなくてはなりません。（応用試験のみの受験はできません）

（２）学歴・実務経験年数の条件が重複する場合について

大学または高等学校（夜間部）の卒業者で、在学中の実務を経験年数に加えたい場合の学歴は、その一つ前の高等学校または中学校を最終学歴として下さい。
夜間部卒業を最終学歴とした場合は、その在学中の実務は経験年数として認められません。

（3）舗装施工管理に関する実務経験について

舗装施工管理に関する実務経験	日本国内での舗装工事の施工にあたって、施工計画に基づき、工事現場において工程管理、品質管理、出来形管理、安全管理等の施工管理業務を行った経験をいい、現場での施工監督業務等の経験がその代表的なものです。 なお、試験単体および単純な業務のみの経験は、施工管理に関する実務経験として認められません。
実務経験年数	舗装工事の施工管理業務に従事した期間の通算年数であり、申込書類等には○年○ヵ月と入力して下さい。複数工事で期間が重複している場合には、一つの経験しか認められません。 通算年数は、**令和４年３月３１日現在で算定**して下さい。
舗装施工を経験したおもな工事の種別	舗装工事、道路工事、橋梁工事、トンネル工事、港湾工事、空港工事、上下水道工事、造成工事、農業土木工事、森林土木工事、公園工事、河川工事、海岸工事、ダム工事、共同溝工事、電線共同溝工事、ガス工事、駐車場工事、競技場工事等
おもな舗装工事の内容	舗装新設、舗装維持、舗装補修、舗装修繕、舗装改築、舗装復旧等
工事に従事した立場	上記舗装工事に係わる施工監督、工事主任、現場代理人、主任技術者、統括管理、監理技術者、監督員、工事係等

（4）舗装施工管理に関する実務経験として認められない業務（従事した立場）について

1）生コンクリート、アスファルト混合物等の製造
2）コンクリート二次製品の製造
3）現場事務、営業等の業務
4）研究所・学校・訓練所等における研究、教育および指導等の業務
5）オペレーター、作業員、運転手等の経験

４．試験の日時および試験内容

（1）試験の日時

	一般・応用受験の方		応用のみ受験の方	
試験日	**令和４年６月２６日（日）**			
入室時刻	9時00分		12時30分	
一般試験	受験の説明	9時15分～ 9時30分	－	－
	試験時間	9時30分～11時30分	－	－
応用試験	受験の説明	12時50分～13時00分	受験の説明	12時50分～13時00分
	試験時間	13時00分～15時00分	試験時間	13時00分～15時00分

遅刻者の受験は、原則認めません。

（2）試験内容

次の試験科目について、一般試験（択一式）および応用試験（記述式）を行います。

試験区分	試験科目	試験内容
一般試験 (択一式)	法規	舗装工事の施工に必要な法令に関する一般的な知識を問う
	舗装全般	1．舗装工事の施工に必要な土木技術および設計図書等に関する一般的な知識を問う 2．舗装の設計、材料、施工および補修等に関する一般的な知識を問う 3．舗装工事の施工計画の作成方法および工程管理、品質管理、出来形管理、安全管理等に関する一般的な知識を問う
応用試験 (記述式)	舗装全般	1．舗装の施工現場において経験したことおよび舗装の設計、材料、施工方法、補修等に関する基本的な知識を問う

参考：おもな出題範囲はP．９のとおりです。

５．試験地

試験地は次表のとおりです。受験を希望する試験地を選んで下さい。

番　号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	１０
試験地	札幌	仙台	東京	新潟	名古屋	大阪	広島	高松	福岡	那覇

６．受験手数料

２級舗装施工管理技術者資格試験の受験手数料

受験の種類	受験資格の区分	受験手数料
一般・応用受験	受験資格の**区分①、②**の方	**８，０００円**（消費税込）
応用のみ受験	受験資格の**区分③**の方（一般試験免除申請者）	**４，０００円**（消費税込）

1）「舗装施工管理技術者　各種申込書類作成システム」を用いて受験申込書を作成し出力して下さい。出力した記入例を参考に、郵便局備え付けの「払込取扱票」を使用し、個人別に払い込み、**郵便局の証明印が押された「振替払込請求書兼受領証のコピー」**を「振替払込受付証明書」貼付欄に、剥がれないようにのり付けして下さい。

2）**受験手数料は、試験の欠席者についてその理由の如何を問わず返却しません。**

3）以下の方については受験手数料から必要経費(一般・応用試験：3,000 円、応用のみ試験：1,500 円)を差し引いた額を返却します。

① 受験資格のない方、または書類不備等により受験できない方
　この方には、その旨を当協会より通知します。

② **５月１８日（水）（必着）まで**に文書による受験辞退の届出をした方
　辞退届には、１・２級の別、受験希望地、氏名、生年月日、住所、電話番号、辞退理由を明記して下さい。（Ｐ．１０）
　辞退届には、必ず辞退者本人が署名、押印し、**振替払込請求書兼受領証（コピー可）を貼付**して提出して下さい。
　受験手数料の振込のみを行い受験申込を行わなかった方も、辞退届が提出されれば、受験手数料から必要経費（1,000 円）を差し引いた額を返却します。
　辞退届の到着が**５月１８日（水）**を過ぎた場合、受験手数料は返却しません。
　返金の時期は、受験資格のない方、書類不備等で受験できない方には７月末頃、辞退届を提出された方には８月末頃となります。

７．受験申込時に必要な書類

区分	学歴または取得資格等	申込に必要な提出書類	
		受験資格に応じて提出する書類（ａ）	全員が提出する書類（ｂ）
①	大学卒業者 専門学校卒業者のうち「高度専門士」と称する者	**卒業証明書（コピーは不可）が必要。** ・指定学科に準じると認める学科で（注２）の表示があるものは履修証明書等が必要。 ・大学院修了の方は、大学の卒業証明書が必要。（大学院の修了証明書は不可） ・日本国外の大学を卒業した方は、課程証明書のコピー（和訳でカリキュラムの内容を説明したもの）の添付が必要。 ・大学扱いの高専卒業の方は、高専の卒業証明書と専攻科の修了証明書の両方が必要。 ・「高度専門士」または「専門士」の称号が卒業証明書に記載されていない場合は、卒業証明書の他にその称号が確認できる書類（称号取得証明書等）も必要。 ・専修学校卒業の方で短大卒業扱いにならない方は、１つ前の学歴の卒業証明書が必要。	ⅰ）**受験申込書** ⅱ）**実務経験証明書** ⅲ）**振替払込請求書兼受領書のコピー** （所定欄に貼付する） ⅳ）**本籍地記載の住民票（コピーは不可）１通** ・発行後６ヵ月以内のもの。 ・市区町村長の証明がないものは不可 ⅴ）**証明用写真　１枚** ・たて 4.5cm×よこ 3.5cm のもの。 ・脱帽、正面、肩から上のもの。 ・頭頂からあごまで30±3㎜。 ・６ヵ月以内に撮影したもの。
	短期大学または高等専門学校卒業者 専門学校卒業者のうち「専門士」と称する者		
	高等学校卒業者		
	その他の者	卒業証明書は不要。	

②	技術士(建設部門)合格者 １級土木合格者 １級機械合格者 ２級土木合格者 ２級機械合格者	左の取得資格のうち１つの**合格証明書等のコピー**が必要。 （令和３年度合格者は合格通知書のコピーでも可）	・不鮮明なもの、スナップ写真、小さいもの、普通紙にプリントしたもの等は不可。 ・写真の裏面に氏名、級、受験希望地を必ず記入して下さい。
③	令和３年度 一般試験合格者	**令和４年度２級舗装施工管理技術者資格試験** **一般試験免除申請書** 令和３年10月27日に当協会から送付したもの（コピーは不可）を、実務経験証明書の裏面にある指定の貼付欄にのりづけ。	vi）**戸籍抄本（コピーは不可）１通** ・住民票と各種証明書の氏名が異なる場合のみ必要。

なお、受験資格の区分①、②で受験する方で、**平成２３年度～令和３年度の２級舗装施工管理技術者資格試験の受験票（１級でも可）**をお持ちの方は、その受験票（コピーは不可）を添付することにより、受験資格に応じて提出する書類（表中の（a））に代えることができます。ただし、ｉ）～vi）の全員が提出する書類（表中の（b））には代えられませんので、ご注意下さい。

受験票を紛失した方は、受験者本人より事務局に電話でお問合せ下さい。

※指定学科等については、別冊「指定学科・専修学校等一覧」を参照して下さい。

８．受験申込の受付

（１）受付期間

令和４年２月１４日（月） ～ ２月２５日（金）

個人別に簡易書留郵便による申込とし、**締切日２月２５日（金）の消印のあるものまで有効**とします。

ただし、郵便局の日付印のないもの（料金別納・料金後納）については、締切日までに到着したものに限り受け付けます。**期限厳守**ですので早めに申し込んで下さい。

（２）提出先

〒104－0032　東京都中央区八丁堀２－５－１　東京建設会館３階

(一社) 日本道路建設業協会　舗装技術者資格試験委員会 事務局

（３）受験申込上の注意

１）書類に不備があると受験できません。

２）書類提出後の追加記入や誤記入の訂正はできません。

３）申込書類は指定の封筒に受験者１人分だけ入れて下さい。（１つの封筒に複数人分の封筒をまとめて入れるのは不可）

４）持参による申込みはできません。

５）提出された書類は返却しません。

６）車イス利用等の事情のある方は、５月１８日（水）（必着）までに、その旨を当協会事務局まで申し出て下さい。

９．受験票の送付

１）受験票は、**令和４年６月１３日（月）頃**、送付します。受験票には、受験番号、試験場等が記載してあります。**６月１７日（金）**を過ぎても受験票が届かない場合は、必ず当協会事務局にお問合せ下さい。連絡のない方は、理由の如何にかかわらず欠席扱いとなります。

２）受験資格のない方および書類不備等により受験できない方には、その旨を通知します。

※ 受験票送付先を変更する方は、Ｐ．１０の『書類送付先・氏名・本籍地等変更（訂正）届』に必要事項を記入のうえ**５月２５日（水）（必着）**までに提出して下さい。

※ 氏名および所属（勤務先）の漢字が外字・俗字等の場合、パソコン対応漢字（JIS 第１水準、第２水準まで）にて記載することがありますので、ご了承下さい。

１０．受験地の変更

１）受験地の変更は、転勤、転居等やむを得ない場合を除いて認めません。これらの理由によって受験地を変更する場合は、下記により手続きを行って下さい。

① **５月１８日（水）（必着）まで**に受験地を変更する場合は、Ｐ．１０の『書類送付先・氏名・本籍地等変更（訂正）届』（以下、変更届という）に必要事項を記入のうえ提出して下さい。当協会から変更した受験地が記載された受験票を送付します。

② **５月１９日（木）以降**に受験地を変更する場合は、下記の資料の送付も必要となります。
当協会から受験地変更許可書等を送付します。指定された**試験場の受付に受験地変更許可書と変更前の受験票の両方を持参**のうえ受験して下さい。

○　Ｐ．１０の変更届
○　変更理由の証明となるもの（住民票、辞令のコピー等）
○　返信用封筒（定形サイズの封筒に簡易書留郵便の 404 円切手を貼付して宛先を明記したもの。ただし、速達の場合は 260 円分追加）

２）**書類の到着が６月２１日（火）（必着）を過ぎた場合、受験地の変更はできません。**

※ 書類は、必ず簡易書留郵便で送付して下さい。

１１．住所等の変更

申込書類の提出後に書類の送付先となる住所・氏名等に変更があった場合は、Ｐ．１０の変更届に必要事項を記入のうえ**５月２５日（水）（必着）まで**に簡易書留郵便で提出して下さい。なお、期限内**に変更届を提出しないと、受験票が届かないことになります。**

受験後に書類の送付先となる住所・氏名等に変更があった場合は、Ｐ．１０の変更届に必要事項を記入のうえ**１０月５日（水）（必着）**までに簡易書留郵便で提出して下さい。

※ 上記にかかわらず、住所変更された方は、郵便局で転居・転送手続きされることをお勧めします。

１２．受験の辞退

受験の辞退は、P.１１の受験辞退届（兼 返金願）に必要事項を記入、押印のうえ、振替払込請求書兼受領証（コピーは不可）を貼付して**５月１８日（水）（必着）まで**に簡易書留郵便で提出して下さい。

辞退届の到着が５月１８日（水）を過ぎた場合、受験手数料の返金はしません。

※ 受験手数料の返金については、Ｐ．５の６．受験手数料を参照して下さい。

１３．受験にあたっての注意

（１）受験に必要なもの

１）受 験 票：必ず持参して下さい。受験票がないと試験室に入れません。
２）筆記用具：鉛筆またはシャープペンシル（ＨＢまたはB）、消しゴム。

※ 計算機、スマートウオッチ等のウエアラブル端末は使用できません。

（２）試験場における注意

１）**指定された試験場以外での受験はできません。**
２）試験当日は、9 時 15 分～9 時 30 分および 13 時 20 分～13 時 30 分の間に受験に関する説明がありますので、それぞれの時間までに指定の試験室に入室して下さい。また、応用試験のみを受験する方は、13 時 20 分～13 時 30 分の間に受験に関する説明がありますので 13 時 20 分までに指定の試験室に入室して下さい。遅刻は、原則認めません。
３）指定の席に着き、受験票は机の上に置いて下さい。
４）一般試験、応用試験ともに試験開始後１時間以内は退室できません。退室した場合は、一般試験、応用試験とも失格となります。
５）試験終了前の 10 分間は退室できません。

6）一般試験の試験問題用紙および応用試験の試験問題用紙の余白を計算等に使用することは差し支えありませんが、受験票および座席票には如何なる記入も一切禁止します。

7）試験問題・解答用紙の持ち帰りはできません。ただし、一般試験の問題用紙は、一般試験終了時刻まで在席した方のうち希望者に限り持ち帰ることができます。

8）試験室では、監督者等の指示に従って下さい。不正行為があった場合および監督者等の指示に従わない場合は、退場を命じます。この場合、一般試験、応用試験とも失格となります。

9）不正行為とみなされた場合は、その後２年間は資格試験の受験を禁止するとともに、既に舗装施工管理技術者の資格を登録している場合は、その登録を抹消します。

10）喫煙は、指定場所以外では厳禁です。また、試験中、試験室内での飲食は厳禁です。
水分補給のため700mℓ以下の蓋付きペットボトル１本に限り、試験中自己の責任において、机上に置いて飲むことを認めます。ただし、瓶、缶、水筒、ペットボトルカバー等は認めません。

11）試験場によっては、弁当、飲物等を入手できない場合があります。

12）試験中、試験室内では、携帯電話等の電子機器は必ず電源を切って下さい。時計代わりの使用も禁止します。また、スマートウオッチ等のウエアラブル端末の使用も禁止します。

１４．合格発表

（１）**合格発表　令和４年１０月２６日（水）**

（２）合格者および一般試験のみ合格者の受験番号の掲示

合格者および一般試験のみ合格者の受験番号を**令和４年１０月２６日（水）10 時頃**から当協会のホームページ（http://www.dohkenkyo.or.jp）に掲載します。

（３）合格発表（通知を合格発表日に発送）

合格者には当協会から**本人宛（住民票住所）に合格通知書を送付**します。

また、不合格者のうち一般試験のみ合格者には、本人宛にその旨の通知および一般試験免除申請書を送付します。本件対象者は、令和５年度に限り一般試験の免除申請を行うことにより応用試験のみで受験することができます。

応用試験のみを受験する方も、令和５年度の受験申込書類は今までと同様に、当協会ホームページ上に設置する「舗装技術者資格　各種申込書類作成システム」で受験申込書類を作成・印刷し、受験の申込みを行って下さい（紙の受験申込書の販売は行いません）。

令和５年度に一般試験の免除申請をしない場合、および令和６年度以降に受験する場合は、一般試験、応用試験も受験しなければなりません。（令和４年度の一般試験の結果は無効となります。）

（４）合否の問合せ先

電話による合否の問合せは、**令和４年１０月３１日（月）から１１月１１日（金）**まで、下記の当協会事務局に限り受け付けます。**受験者本人が受験番号**で問い合わせて下さい。

なお、試験問題および採点等に関する質問・問合せについては回答致しません。

（一社）日本道路建設業協会　舗装技術者資格試験委員会 事務局　℡　03−6280−5038

（受付時間　９：００～１７：３０、土、日、祝日を除く）

１５．登録申請

２級舗装施工管理技術者資格試験の合格者が資格者証の交付を受けるためには、(一社)日本道路建設業協会会長宛に登録申請(登録手数料 6,000 円)をする必要があります。登録の案内を合格通知書と一緒に送付します。

登録申請を**令和４年１２月９日（金）**までに行った方には、**令和５年３月下旬**に、**令和５年３月末**までに行った方には、**同年５月中旬**に、いずれも令和５年４月１日登録の資格者証を送付します。

なお、**登録の有効期間は５年間**であり、**５年ごとに更新**(更新手数料 6,000 円)する必要があります。

参　考

おもな出題範囲は次のとおりです。

種　別	細別	
	項　　目	例
土木工学	土工	・切土、盛土　等
	コンクリート構造物	・側溝、擁壁　等
	安全施設	・道路標識、道路標示 ・防護柵 ・道路照明　等
	建設機械	・土工用機械　等
	造園	・道路緑化　等
	共通	・契約約款　・測量、調査 ・契約図書　・試験　等
舗装工学	設計	・路床の支持力評価 ・アスファルト舗装 ・セメント・コンクリート舗装 ・各種の舗装　等
	材料	・骨材 ・アスファルト、セメント ・路盤材 ・加熱アスファルト混合物 ・舗装用セメント・コンクリート ・その他(新材料、再生材) ・試験　等
	施工	・路床、路盤 ・舗装用材料の製造・運搬 ・アスファルト混合物の舗設 ・セメント・コンクリートの舗設 ・各種の舗装 ・舗装用機械　等
	補修	・在来舗装の評価 ・補修の設計 ・補修工法　等
施工管理	施工計画	・施工計画 ・建設副産物の活用　等
	施工管理	・工程管理　・品質管理 ・原価管理　・出来形管理 ・安全管理　・検査 ・試験　等
舗装工事関連法規	労働関係	・労働基準法 ・労働安全衛生法　等
	建設業関係	・建設業法　等
	道路交通関係	・道路法 ・道路交通法　等
	環境保全対策関係	・環境基本法 ・大気汚染防止法 ・騒音規制法 ・振動規制法　等
	建設副産物関係	・資源の有効な利用の促進に関する法律 ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律　等

令和4年度 2級舗装施工管理技術者資格試験
書類送付先・氏名・本籍地・受験地等 変更(訂正)届

令和 4年　　月　　日

一般社団法人 日本道路建設業協会
会　　長　　殿

受験申込事項に変更がありましたので、下記により変更を申請いたします。

申込時の受験地

整理番号

申込時の氏名

フリガナ		
氏　名	(氏)	(名)

印

※必ず押印して下さい。

生年月日

昭和 / 平成　　年　　月　　日

変更内容 (該当項目のみ記入して下さい)

[受験票送付先変更期限]　5月25日(水)必着
[受験地変更期限]　6月21日(火)必着
[合格通知送付先変更期限]　10月5日(水)必着

①受験票の送付先変更

新送付先 (該当番号を○で囲んで下さい)

1. 住民票住所　　2. 勤務先

提出先:〒104-0032
東京都中央区八丁堀2-5-1　東京建設会館3F
(一社)日本道路建設業協会　舗装技術者資格試験委員会事務局

②住所変更(合格通知は住民票住所宛に送付します。)

フリガナ	
新住所 (住民票 住所)	自宅TEL　(　　)　携帯TEL　(　　)　〒□□□－□□□□

③勤務先変更

フリガナ		所属 部署	
勤務先名			
フリガナ			
所在地	TEL　(　　)　FAX　(　　)　〒□□□－□□□□		

④氏名変更　戸籍抄本を添付して下さい。

旧氏名

フリガナ		
氏　名	(氏)	(名)

→

新氏名

フリガナ		
氏　名	(氏)	(名)

⑤本籍地変更　戸籍抄本または本籍地記載の住民票を添付して下さい。

旧本籍地　　新本籍地

→

※同一都道府県内での変更は届出の必要はありません。

⑥受験地変更　5月19日(木)～6月21日(火)は、添付資料が必要となります。(P.7参照)

旧受験地　　新受験地　　理由

→

※このページをコピーして使用して下さい。

令和4年　月　日

一般社団法人　日本道路建設業協会
舗装技術者資格試験委員会　事務局　行

受 験 辞 退 届（兼　返金願）

私は、令和4年度「舗装施工管理技術者資格試験」の受験を辞退いたします。

級		受験の種 類	どちらかを〇で囲んで下さい 一般・応用　応用のみ	受 験 希望地	
申込者 氏 名					印
生年月日	昭和 平成　　年　　月　　日				
辞退の 理 由					
連絡先 （日中確実に書類を受け取れる所を記入して下さい）	（勤務先宛の場合には、勤務先名称まで記入して下さい） 〒　　－ TEL　　－　　－　　FAX　　－　　－				

※上記連絡先宛に、試験終了後に受験手数料(必要経費差引き額）の振込先記入用紙を送付します。

◎下記のうち、該当する番号(1つ)に〇をつけて下さい。

1. 受験申込書類を提出済み
2. 振込のみで、受験申込書類は提出していない
3. 誤って受験手数料を2種類とも振込した
4. その他

[提出期限]　5月18日(水)必着

振替払込請求書兼受領証
貼 付 欄
(コピー可)

① 試験場への交通手段は、電車・バス等の公共交通機関を利用して下さい。
② 公共交通機関においては、気象状況等により運休区間や臨時運行区間が生じる可能性があります。予め交通情報を確認し、試験当日は十分に余裕を持って試験場に到着して下さい。
③ 事前に天災または公共交通機関の遅延・運転停止などにより、受験できない等の状況が見込まれる場合の措置については、当協会のホームページにてご確認下さい。
④ 試験場やその周辺には駐車できませんので、自動車・バイク等での来場は固くお断りします。
⑤ 駐車違反等の呼び出しで試験室を離れた場合、再入室をお断りします。

令和４年度

受 験 の 手 引 き

発行所　一般社団法人 日本道路建設業協会

舗装技術者資格試験委員会 事務局
〒104-0032　東京都中央区八丁堀 2-5-1
東京建設会館 3 階
TEL.　03-6280-5038
FAX.　03-6280-5040
http://www.dohkenkyo.or.jp

別　冊

令和４年度

舗装施工管理技術者資格試験

指定学科・専修学校等一覧

○指定学科等について …… 1

①(1)指定学科の表を参照し、卒業した学科があれば指定学科。
②(1)指定学科の表になければ(2)学校により指定学科に準じると認める学科を参照し、卒業した学校・学科があれば指定学科。
③どちらにもなければ指定学科外。

○専修学校等について …… 12

○職業訓練について …… 18

〔高度専門士および専門士とは〕

・専門学校専門課程で、以下に掲げる要件を満たし、文部科学大臣が認めるものを修了した者は、高度専門士または専門士と称することができる。

※専門学校を卒業された方は、「高度専門士」または「専門士」の称号が確認できる証明書の提出が必要です。

	高度専門士	専門士
要件	①修業年数が４年以上であること。 ②全課程の修了に必要な総授業時間が3,400時間以上。または単位制による学科の場合は、124単位以上。 ③体系的に教育課程が編成されていること。 ④試験等により成績評価を行い、その評価に基づいて課程修了の認定を行っていること。	①修業年数が２年以上であること。 ②全課程の修了に必要な総授業時間が1,700時間以上。または単位制による学科の場合は、62単位以上。 ③試験等により成績評価を行い、その評価に基づいて課程修了の認定を行っていること。 ④高度専門士と称することができる課程と認められたものでないこと。

一般社団法人 日本道路建設業協会

指定学科等について

（1）指定学科

指定学科およびそれに準じると認める学科は次表のとおりです。

次表にあてはまらない場合は、「(2)学校により指定学科に準じると認める学科」以降を参照して下さい。

※専修学校（専門学校）の卒業者で次表の対象となるのは「高度専門士」「専門士」の称号を付与された方のみです。それ以外の専修学校の卒業者は「専修学校等について」を参照して下さい。

※高等専門学校の専攻科、高等学校の専攻科の修了を最終学歴とする場合は次表の対象となりません。「高等専門学校 専攻科、高等学校 専攻科について」を参照して下さい。

学科コード	指定学科			
01	**土木（工学）科**			
	海洋開発（工学）科	海洋工学科	海洋土木工学科	開発工学科
	環境開発科	環境建設科※1	環境土木科	環境整備工学科
	環境設計工学科	建設環境工学科	建設基礎工学科	建設技術科
	建設（工学）科※2	建設工業科	建設システム（工学）科※3	建築土木科※2
	構造工学科	資源開発工学科	社会開発工学科	社会建設工学科
	水工土木（工）学科	地質工学科	土木海洋工学科	土木環境工学科
	土木建設工学科	土木建築（工学）科	土木地質科	
02	**農業土木（学）科**			
	生活環境科学科	生産環境工学科	地域開発科学科	農業開発科
	農業技術学科	農林工学科	農林土木科	
	農業工学科（ただし、東京農工大学・島根大学・岡山大学および宮崎大学以外については、農業機械学専攻、専修またはコースを除く）			
	学科名に関係なく生産環境工学コース・講座・専修・専攻※4			
	学科名に関係なく農業土木学コース・講座・専修・専攻			
	学科名に関係なく農業工学コース・講座・専修・専攻			
03	**森林土木（学）科**			
	森林工学科	林業工学科	林業土木科	
04	**鉱山土木学科**			
05	**砂防学科**			
06	**治山学科**			
07	**都市工学科**			
	環境都市工学科	都市システム（工学）科		
08	**衛生工学科**			
	設備（工業）科	設備工学科	設備システム科	環境（工学）科
	空調設備科			
09	**交通工学科**			
10	**建築（学）科**			
	環境計画学科	建築工学科	建築システム科	建築設備工学科
	建築第二学科	住居科	住居デザイン科	造形工学科
11	**緑地（学）科**			
	環境緑化科	環境緑地科	緑地園芸科	緑地工学科
	緑地土木科	林業緑地科		
	造園（学）科			
	環境造園科	造園工学科	造園土木科	造園緑地科
	造園林学科	造園デザイン（工学）科		

※1　千葉県立成田西陵高等学校については P.8 参照　　※2　福井工業大学については P.5 参照

※3　山形県立新庄神室産業高等学校については P.10 参照　　※4　神戸大学については P.3 参照

（2）学校により指定学科に準じると認める学科

学校により指定学科に準じると認める学科は次表のとおりです。

（注１）コース・講座・専攻等の指定がある場合は、コース・講座・専攻等が記載された卒業証明書または、成績証明書が必要です。

（注２）履修科目および単位数により指定学科となる学科については、卒業証明書のほかに、成績証明書または履修証明書が必要です。履修科目および単位数は、当協会事務局にお問い合わせ下さい。

※短期大学、高等専門学校から大学に編入された方は、一つ前学歴の履修証明書（一括証明は不可）も必要です。

学校名（50音順）	学　科　名		学　科コード
〔大　学〕			
愛知工業大学	都市環境学科	土木工学専攻（注1）	01
		建築学専攻（注1）	10
		建築環境学専攻（注1）（注2）	
愛知産業大学	通信教育部 造形学部	デザイン学科 建築デザインコース（注1）	
		産業デザイン学科 建築デザインコース（注1）	
愛知淑徳大学	現代社会学科（注2）		
	メディアプロデュース学科（注2）		
	創造表現学科 建築・インテリアデザイン専攻 〈平成28年度以降の入学者（注1）（注2）〉		
秋田大学	システムデザイン工学科 土木環境工学コース（注1）		01
秋田県立大学	建築環境システム学科		10
足利工業大学	創生工学科 建築・土木分野	土木工学コース（注1）	01
		建築学コース（注1）（注2）	10
	都市環境工学科（注2）		
	創生工学科 建築・社会基盤学系	土木工学コース（注1）〈平成26年度以前の入学者は（注2）〉	01
		空間デザインコース（注1）（注2）	10
		建築学コース（注1）（注2）	
足利大学	創生工学科 建築・土木分野	土木工学コース（注1）	01
		建築学コース（注1）（注2）	10
	創生工学科 建築・社会基盤学系	土木工学コース（注1）〈平成26年度以降の入学者は（注2）〉	01
		空間デザインコース（注1）（注2）	10
		建築学コース（注1）（注2）	
石川県立大学	環境科学科〈平成23年度以前の入学者は（注2）〉		02
茨城大学	生物生産学科 特別カリキュラムⅢ（注1）		
	地域環境科学科	地域環境工学カリキュラム（注1）	
		特別カリキュラム（注1）〈平成12年度以降の入学者〉	
岩手大学	農業生産環境工学科 地域環境工学専修（注1）		
	農林環境科学科 地域環境デザイン学講座（注1）		
	共生環境課程	農村環境デザイン学コース（注1）	01
		地域環境工学コース（注1）	
	社会環境工学科		
宇都宮大学	農業環境工学科	水土環境工学Aコース（注1）	
		水土環境工学Bコース（注1）	
		食料生産システム工学コース（注1）（注2）	
		環境共生学コース（注1）（注2）	
	農業開発工学科（農業機械学専攻を除く）（注1）		02

学校名（50音順）	学　科　名		学　科コード
愛媛大学	生物資源学科	生産地域工学（注1）	02
		地域環境工学専門教育コース（注1）	
	工学科	社会基盤工学コース（注1）	01
		社会デザインコース（注1）（注2）	
	環境建設工学科	平成12年度以前の入学者	
		一般コース（注1）（注2）〈平成13年度以降の入学者〉	
		社会デザインコース（注1）（注2）〈平成23年度以降の入学者〉	
		シビルエンジニアリング専修コース（注1）〈平成13年度以降の入学者〉	
		土木工学コース（注1）	
大分大学	化学環境工学科		08
	福祉環境工学科	福祉建築コース（注1）	10
		建築コース（注1）	
大阪大学	地球総合工学科	社会基盤工学科目（注1）	01
		土木工学科目〈平成10年度以降の入学者〉（注1）	
		建築工学科目（注1）〈平成10年度以降の入学者〉	10
大阪芸術大学	通信教育部 芸術学部 環境デザイン学科		
	芸術学部 環境デザイン学科		
大阪工業大学	都市デザイン工学科		01
大阪産業大学	建築・環境デザイン学科（注2）		10
	環境デザイン学科（注2）〈平成２年度以降の入学者〉		
	環境理工学科〈平成29年度以降の入学者〉		01
	都市創造工学科〈平成16～29年度の入学者〉〈ただし平成16、21～23年度の入学者は（注2）〉		
	都市創造工学科	総合コース（注1）〈平成30年度以降の入学者〉	
		構造コース（注1）〈平成30年度以降の入学者〉	
		自然エネルギーコース（注1）（注2）〈平成30年度以降の入学者〉	
大阪市立大学	都市基盤工学科（注2）		07
	都市学科		
大阪府立大学	地域環境科学科（注2）		02
	生命環境科学域 緑地環境科学類（注1）		11
	緑地環境科学科		
大手前大学	メディア・芸術学科　建築・インテリアメジャー（注1）〈平成28年度までの入学者。ただし平成23～25年度の入学者は（注2）〉		10

学校名(50音順)	学　科　名		学科コード
岡山大学	環境デザイン工学科		01
	環境管理工学科〈平成16～24年度および平成26年度の入学者は(注2)〉		
	総合農業科学科学科 基盤整備学講座(注1)		02
帯広畜産大学	畜産科学課程	農業環境工学ユニット(注1)	
		環境農学ユニット(注1)	
	畜産科学科学科 地域環境工学ユニット(注1)		
香川大学	安全システム建設工学科〈平成18年度以前の入学者は(注2)〉		01
鹿児島大学	海洋土木開発工学科		
金沢大学	理工学域 環境デザイン学類(注1)(注2)		
	理工学域 地球社会基盤学類	土木防災コース(注1)	
		環境都市コース(注1)	
金沢工業大学	環境システム工学科		
	環境土木工学科		
	居住環境学科		10
	建築デザイン学科		
	建築都市デザイン学科		
関西大学	都市環境工学科	計画・環境コース(注1)	01
		建設・設計コース(注1)	
関西学院大学	国際政策学科 建築士プログラム(注1)〈平成24年度以前の入学者は(注2)〉		10
	総合政策学科 建築士プログラム(注1)〈平成24年度以前の入学者は(注2)〉		
	都市政策学科 建築士プログラム(注1)〈平成24年度以前の入学者は(注2)〉		
	メディア情報学科 建築士プログラム(注1)〈平成24年度以前の入学者は(注2)〉		
関東学院大学	社会環境システム学科		01
	理工学科(土木学系)(注1)		
	建築・環境学科(注2)		10
畿央大学	人間環境デザイン学科	平成28年度以降の入学者(注2)	
		建築・まちづくりコース(注1)(注2)	
	健康生活学科 人間環境デザイン専攻 住まい・まちづくりコース(注1)(注2)〈平成15年度以降の入学者〉		
北九州市立大学	建築デザイン学科		
	環境空間デザイン学科		
北里大学	生物生産環境学科		02
	畜産土木工学科		
	生物環境科学科		
北見工業大学	社会環境工学科		01
	土木開発工学科		
岐阜大学	社会基盤工学科	昼間コース(注1)(注2)	
		夜間主コース(注1)	
		平成21年度以降の入学者〈平成21～24年度の入学者は(注2)〉	
	生物生産システム学科 生産環境整備学(注1)		10
九州大学	建設都市工学科		01
	地球環境工学科	建設都市工学コース(注1)	
		地球システム工学コース(注1)	04
	生物資源環境学科	生物資源生産科学コース 生物生産環境工学分野(注1)	01
		生物資源生産科学コース 地域環境工学分野(注1)	
九州共立大学	開発学科		
	地域環境システム工学科		
	環境化学科		08
	環境サイエンス学科(注2)		
九州芸術工科大学	環境設計学科		10
九州工業大学	開発土木工学科		01
	建設社会工学科		
	設計生産工学科　建設工学コース(注1)		

学校名(50音順)	学　科　名		学科コード
九州産業大学	都市デザイン工学科		10
	都市基盤デザイン工学科		
	住居・インテリア学科		
	住居・インテリア設計学科		
京都大学	地球工学科		01
	交通土木工学科		
	生産環境科学科 地域環境創造学コース(注1)(注2)		02
	地域環境工学科〈平成19年度以前の入学者は(注2)〉		
京都工芸繊維大学	住環境学科		10
	造形工学課程(注1)(注2)		
	デザイン・建築学課程(注1)(注2)		
	デザイン・建築学課程(地域創生Tech Program)(注1)(注2)		
京都造形芸術大学	環境デザイン学科		
	通信教育部 デザイン科 建築デザインコース(注1)〈平成28年度以前の入学者は(注2)〉		
京都美術工芸大学	伝統工芸学科(注2)		
近畿大学	建築・デザイン学科	建築コース(注1)	
		建築工学コース(注1)	
	社会環境工学科〈平成24年度以前の入学者は(注2)〉		01
熊本県立大学	居住環境学科		10
	環境共生学科 居住環境学専攻(注1)		
熊本大学	環境システム工学科	環境プランニングコース(注1)	
		環境デザインコース(注1)	
		環境共生工学コース(注1)	01
		環境構築工学コース(注1)	
	環境建設工学科		
	社会環境工学科	平成22年度以降の入学者	
		土木環境工学コース(注1)(注2)	
		地域環境デザインコース(注1)(注2)	
群馬大学	社会環境デザイン工学科		
	環境創生理工学科 社会基盤・防災コース(注1)(注2)		
	総合理工学科 環境創生専門教育プログラム(社会基盤・防災コース)(注1)		
慶應義塾大学	システムデザイン工学科(注2)		10
工学院大学	環境化学工学科〈平成17年度の入学者〉		08
	環境化学科(注2)		
	環境エネルギー化学科(注2)		
	建築デザイン学科		10
	まちづくり学科		
	建築都市デザイン学科		
高知工科大学	社会システム工学科(注2)		01
	システム工学群 建築・都市デザイン専攻(注1)(注2)〈平成21年度以降の入学者〉		
神戸大学	市民工学科(注2)		
	食料生産環境工学科　地域環境工学プログラム(注1)(注2)		
	食料環境システム学科 生産環境工学コース 地域環境工学プログラム(注1)(注2)		
	農業生産工学科		02
	生産環境情報学科		
神戸芸術工科大学	環境デザイン学科		10
	環境・建築デザイン学科		
神戸山手大学	環境文化学科(注2)		
	総合社会学科(注2)〈平成25年度以降の入学者〉		

学校名(50音順)	学科名			学科コード
国士舘大学	理工学科	都市ランドスケープ学系(注1)(注2)		01
		まちづくり学系(注1)(注2)〈平成26年度以降の入学者〉		
		建築学系〈平成19年度以降の入学者〉(注1)(注2)		10
	建築デザイン工学科(注2)			
佐賀大学	生物生産学科 環境情報工学系(注1)			02
	生物環境科学科 生物環境保全学コース(注1)(注2)			08
	生物資源科学科 食資源環境科学コース(注1)(注2)〈平成31年度以降の入学者〉			01
	理工学科	建築環境デザインコース(注1)		
		都市基盤工学コース(注1)		
札幌市立大学	デザイン学科	人間空間デザインコース(注1)〈平成28年度以降の入学者〉		10
		空間デザインコース(注1)〈平成28～29年度の編入学者〉		
		空間デザインコース(注1)〈平成18～27年度の入学者〉		
滋賀県立大学	環境建築デザイン学科(注2)			
芝浦工業大学	環境システム学科			07
	デザイン工学科(注2)〈平成21年度以降の入学者〉			10
島根大学	建築デザイン学科			
	建築・生産設計工学科			
首都大学東京	都市環境学科	建築都市コース(注1)(注2)		
		都市基盤環境コース(注1)(注2)		01
昭和女子大学	環境デザイン学科 建築・インテリアデザインコース(注1)			10
	生活環境学科 建築学コース(注1)			
	生活美学科 住居学コース(注1)・建築学コース(注1)			
信州大学	水環境・土木工学科			01
摂南大学	都市環境システム工学科			
	都市環境工学科〈平成22～25年度の入学者は(注2)〉			
	住環境デザイン学科(注2)			10
崇城大学	エコデザイン学科(注2)			01
第一工業大学	建築デザイン学科			10
	自然環境工学科〈平成23年度以降の入学者〉			01
	社会環境工学科(注2)			
大同大学	都市環境デザイン学科			
大同工業大学	都市環境デザイン学科			
多摩美術大学	環境デザイン学科〈平成20年度以前の入学者は(注2)〉			10
千葉工業大学	建築都市環境学科(注2)			
	都市環境工学科(注2)〈平成28年度以降の入学者〉			07
千葉大学	デザイン工学科 建築系建築コース(注1)			10
	都市環境システム学科〈平成10～28年度の入学者。ただし平成26～28年度の入学者は(注2)〉			07
	環境緑地学科			11
	緑地環境学科			
	緑地・環境学科			
中央大学	都市環境学科〈平成21年度以降の入学者〉			01
中部大学	都市建設工学科〈平成25～27年度の入学者は(注2)〉			

学校名(50音順)	学科名			学科コード
筑波大学	第二学群	生物資源学類 生物環境造成学専攻(注1)(注2)		02
	第三学群	基礎工学類 構造工学主専攻(注1)		01
		社会工学類 都市計画主専攻(注1)		
		工学システム学類 環境開発工学主専攻(注1)(注2)		
	理工学群	工学システム学類 環境開発工学主専攻(注1)(注2)		
帝塚山大学	居住空間デザイン学科			10
東海大学	海洋建設工学科(注2)			01
	建築・環境デザイン学科(注2)			10
	建築デザイン学科			
東京工業大学	社会工学科			01
	開発システム工学科 土木コース(注1)			
東京造形大学	デザイン学科 室内建築専攻領域(注1)(注2)〈平成23年度以降の入学者〉			10
東京大学	社会基盤学科			01
	地球システム工学科			
	農業生物学科(農業生物学専修を除く)(注1)			02
	環境資源科学課程	生物・環境工学専修(注1)(注2)		
		緑地環境学専修(注1)		
東京電機大学	理工学科 建築・都市環境学系	平成27年度以降の入学者〈平成27～29年度の入学者は(注2)〉		10
		主コース：建築コース 副コース：都市環境コース(注1)(注2)		01
		主コース：都市環境コース 副コース：建築コース(注1)(注2)		
	理工学科 創造工学系	主コース：都市デザインコース 副コース：建築デザインコース(注1)(注2)		
		主コース：建築デザインコース 副コース：都市デザインコース(注1)(注2)		
東京都市大学	都市生活学科(注2)			10
東京農業大学	造園科学科			11
	地域創成科学科			01
	森林総合科学科〈平成26年度以降の入学者〉			03
東京農工大学	地域生態システム学科 環境・農業システム工学コース(注1)(注2)			02
	地域生態システム学科〈平成18年度以降の入学者。ただし平成18～28年度の入学者は(注2)〉			
東北大学	建築・社会環境工学科(注2)			01
東北学院大学	環境土木工学科			
	環境建設工学科	平成24年度以前の入学者		
		環境土木コース(注1)〈平成25年度以降の入学者。ただし平成25～28年度の入学者は(注2)〉		
		建築コース(注1)〈平成25年度以降の入学者〉		10
東北芸術工科大学	環境デザイン学科			10
	建築・環境デザイン学科〈平成25年度以降の入学者は(注2)〉			
東北工業大学	安全安心生活デザイン学科(注2)			
	都市マネジメント学科			01

学校名(50音順)	学科名		学科コード
東北文化学園大学	建築環境学科〈平成28年度以降の入学者は(注2)〉		10
	人間環境デザイン学科		
	住環境デザイン学科		
	環境計画工学科		
東洋大学	都市環境デザイン学科(注2)		01
東和大学	環境デザイン工学科	環境土木コース(注1)(注2)	01
		建築学コース(注1)(注2)	10
		建築・住環境デザインコース(注1)(注2)	
徳島大学	理工学科 社会基盤デザインコース	昼間コース(注1)〈平成28年度の入学者〉	01
		夜間主コース(注1)〈平成28年度の入学者〉	
徳島文理大学	建築デザイン学科		10
	住居学科		
	環境システム工学科		08
鳥取大学	農林総合学科 生存環境科学講座(注1)		02
	生物資源環境学科	生存環境学コース(注1)	
		環境共生科学コース(注1)〈平成20年度以降の入学者は(注2)〉	
		環境共生科学コース一般プログラム(注1)(注2)	
		環境共生科学コース地域環境工学プログラム(注1)(注2)	
	社会システム土木系学科 社会経営工学プログラム(注1)		01
	社会開発システム工学科〈平成12年度以前の入学者は(注2)〉		
富山大学	芸術文化学科(注2)〈平成29年度以降の入学者〉		10
豊橋技術科学大学	エコロジー工学課程		08
	建設工学課程		10
	建築・都市システム学課程(注2)		
長岡技術科学大学	建設工学課程		01
	環境システム工学課程		
	環境社会基盤工学課程(注2)		
長岡造形大学	建築・環境デザイン学科		10
	環境デザイン学科		
長崎大学	工学科	構造工学コース(注1)〈平成23年度以降の入学者〉	01
		社会環境デザイン工学コース(注1)〈平成23年度以降の入学者〉	
長崎総合学科大学	工学科　建築学コース(注1)〈平成29年度以降の入学者〉		10
名古屋工業大学	建築・デザイン工学科(注2)		10
	都市社会工学科	環境都市系(注1)	01
		環境都市系プログラム(注1)	
名古屋市立大学	建築都市デザイン学科〈平成22年度以降の入学者〉		10
名古屋造形大学	造形学科(注2)		
名古屋大学	社会環境工学科	社会資本工学コース(注1)	01
		建築学コース(注1)	10
	環境土木・建築学科		01
奈良女子大学	人間環境学科 住環境学専攻(注1)(注2)		10
	住環境学科(注2)		
新潟大学	生産環境科学科	地域環境工学コース(注1)	01
		平成3～12年度の入学者(注2)	

学校名(50音順)	学科名		学科コード
新潟工科大学	工学科	建築コース(注1)(注2)〈平成27年度以降の入学者〉	10
		都市環境エネルギーコース(注1)(注2)〈平成27年度以降の入学者〉	07
西日本工業大学	環境都市デザイン工学科		01
	総合システム工学科 環境建設系(注1)〈平成21年度以降の入学者〉		
日本工業大学	生活環境デザイン学科(注2)		10
日本大学	交通システム工学科(注2)		01
	交通土木工学科		
	社会交通工学科〈平成14年度以降の入学者は(注2)〉		
	生物環境工学科		02
	海洋建築工学科		10
	環境安全工学科〈平成28年度以前の入学者は(注2)〉		07
	まちづくり工学科(注2)		
日本福祉大学	福祉工学科	バリアフリーデザイン専修(注1)(注2)〈平成25～29年度の入学者〉	10
		建築バリアフリー専修(注1)(注2)〈平成30年度以降の入学者〉	
日本文理大学	建築デザイン学科		10
	建設都市工学科(注2)		01
八戸工業大学	環境建設工学科		01
弘前大学	地域環境科学科	地域環境工学・地域環境計画学コース(注1)(注2)〈平成10～14年度の入学者〉	02
		地域環境工学・地域環境計画学コース農業土木プログラム(注1)〈平成15～19年度の入学者〉	
		地域環境工学・地域環境計画学コース地域環境プログラム(注1)(注2)〈平成15～19年度の入学者〉	
	地域環境工学科	農業土木コース(注1)〈平成20年度以降の入学者〉	
		農山村環境コース(注1)(注2)〈平成20年度以降の入学者〉	
広島大学	工学部 第四類(注1)(船舶工学課程、エンジニアリングシステム課程、輸送機器システム課程、海洋システム課程、生産基盤工学課程、輸送機器工学課程、環境共生システム課程)を除く		01
広島工業大学	都市建設工学科(注2)		10
	都市デザイン工学科		
	環境デザイン学科		
	地域環境学科(注2)〈平成18年度以降の入学者〉		
	建築デザイン学科〈平成28年度以降の入学者〉		
広島国際大学	住環境デザイン学科(注2)		10
	建築創造学科(注2)		
福井工業大学	建設工学科	地球環境工学専攻(注1)〈平成14年度以前の入学者は(注2)〉	01
		土木環境工学専攻(注1)	
		建築学専攻(注1)(注2)	10
	建築生活環境学科(注2)		
	建築土木工学科(注2)〈平成27年度以降の入学者〉		
福井大学	建築・都市環境工学科	建築学コース(注1)〈平成28年度以降の入学者〉	10
		都市環境工学コース(注1)〈平成28年度以降の入学者〉	01
	建築建設工学科	建築学コース(注1)	10
		建設工学コース(注1)(注2)	01

学校名(50音順)	学科名		学科コード
福岡大学	社会デザイン工学科		01
福山大学	建築・建設学科		
法政大学	都市環境デザイン工学科(注2)		
北海学園大学	社会環境工学科	平成18年度以前の入学者(注2)	
		社会環境コース(注1)〈平成19～28年度の入学者は(注2)〉	
		環境情報コース(注1)(注2)〈平成19年度以降の入学者〉	
北海道科学大学	都市環境学科		
北海道工業大学	都市環境学科	土木エンジニアリングコース(注1)	
		環境デザインコース(注1)	
	社会基盤工学科		
	環境デザイン学科		07
北海道大学	環境社会工学科	社会基盤学コース(注1)	01
		シビルエンジニアリングコース(注1)	
		国土政策学コース(注1)	
		資源循環システムコース(注1)	
		衛生環境工学コース(注1)	08
		建築都市コース(注1)	10
	建築都市学科		
北海道東海大学	くらしデザイン学科(注2)		
前橋工科大学	社会環境工学科		01
	総合デザイン工学科(注2)		10
三重大学	共生環境学科	地域保全工学講座(注1)(注2)	02
		農業土木学教育コース(注1)〈平成30年度以降の入学者〉	
		地域環境デザイン学教育コース(注1)(注2)〈平成27～29年度の入学者〉	
宮城大学	環境システム学科(注2)		
宮崎大学	社会環境システム工学科		01
武庫川女子大学	生活環境学科(注2)		10
武蔵工業大学	都市基盤工学科		01
武蔵野大学	建築デザイン学科〈平成27年度以降の入学者〉		10
室蘭工業大学	建築社会基盤系学科	土木工学コース(注1)	01
		建築学コース(注1)	10
	創造工学科建築土木工学コース	土木工学トラック(注1)	01
		建築学トラック(注1)	10
名城大学	環境創造学科(注2)		01
	社会基盤デザイン工学科(注2)		
明星大学	総合理工学科 建築学系(注1)(注2)〈平成22年度以降の入学者〉		10
ものつくり大学	建設技能工芸学科(注2)		
山形大学	食料生命環境学科 水土環境科学コース(注1)		02
	生物生産学科(注2)		
	生物環境学科(注2)		
	生活総合学科 生活環境科学コース(注1)(注2)〈平成19～23年度の入学者〉		10
	地域教育文化学科 生活環境科学コース(注1)(注2)〈平成24年度以降の入学者〉		
	建築・デザイン学科(注2)〈平成29年度以降の入学者〉		
山口大学	感性デザイン工学科	平成11～13年度の入学者(注2)	
		人間空間コース(注1)〈平成14年度以降の入学者〉	
		建築コース(注1)	
大和大学	理工学科 建築学専攻(注1)(注2)		
横浜国立大学	建築都市・環境系学科	建築教育プログラム(注1)(注2)〈平成23年度以降の入学者〉	
		都市基盤教育プログラム(注1)	01

学校名(50音順)	学科名		学科コード
立命館大学	環境システム工学科	平成15年度以前の入学者	01
		平成16年度以降の入学者(注2)	08
	建築都市デザイン学科(注2)		10
琉球大学	環境建設工学科		01
	生産環境学科 生産基盤工学コース(注1)		02
	地域農業工学科 地域環境工学コース(注1)〈平成21年度以降の入学者〉		
和歌山大学	システム工学科(環境デザインメジャーおよび環境科学メジャーを選択履修)(注1)		07
	環境システム学科		
早稲田大学	社会環境工学科		01
〔短期大学〕			
昭和女子大学短期大学部	文化創造学科 建築コース(注1)		10
専修大学北海道短期大学	環境システム科		01
	園芸緑地科		
	みどりの総合科学科 環境土木系(注1)		
東京農業大学短期大学部	環境緑地学科		
東北科学技術短期大学	建築設備環境学科		08
富山県立大学短期大学部	環境システム工学科(注2)		01
西日本短期大学	緑地環境学科(注2)		11
明治大学短期大学部	工科建設専攻(注1)		10
山形大学工業短期大学	環境化学計測学科		08
〔高等専門学校〕			
阿南工業高等専門学校	創造技術工学科　建設コース(注1)〈平成26年度以降の入学者〉		01
大分工業高等専門学校	都市・環境工学科〈平成23年度以降の入学者〉		07
大阪府立工業高等専門学校	総合工学システム学科 環境都市システムコース(注1)(注2)		
大阪府立大学工業高等専門学校	総合工学システム学科	環境都市システムコース(注1)(注2)	
		都市環境コース(注1)(注2)	
香川高等専門学校	建設環境工学科		01
鹿児島工業高等専門学校	都市環境デザイン工学科(注2)〈平成22年度以降の入学者〉		
近畿大学工業高等専門学校	総合システム工学科	都市環境コース(注1)	
		建築デザインコース(注1)	10
熊本高等専門学校	建築社会デザイン工学科〈平成22年度以降の入学者〉		01
高知工業高等専門学校	環境都市デザイン工学科		
仙台高等専門学校	建築デザイン学科		10
高松工業高等専門学校	建設環境工学科		01
苫小牧工業高等専門学校	環境都市工学科		
豊田工業高等専門学校	環境都市工学科		
函館工業高等専門学校	環境都市工学科		
	社会基盤工学科		
八戸工業高等専門学校	産業システム工学科　環境都市・建築デザインコース(注1)		
〔高等学校〕			
愛知県立安城農林高等学校	森林環境科 環境緑化コース(注1)		11
愛知県立稲沢高等学校	環境デザイン科(注2)〈平成15年度以降の入学者〉		

学校名(50音順)	学　科　名	学科コード
愛知県立 猿投農林高等学校	環境デザイン科	02
愛知県立 鶴城丘高等学校	総合学科(注2) 〈平成15年度以降の入学者〉	
青森県立 青森工業高等学校	都市環境科	01
青森県立 尾上総合高等学校	総合学科(注2) 定時制の課程 総合学科(注2)	
青森県立 むつ工業高等学校	設備・エネルギー科 設備類型(注1)	08
青森山田高等学校	土木建築デザイン科	01
秋田県立 秋田北鷹高等学校	緑地環境科 環境土木コース(注1)	02
秋田県立西目高等学校	総合学科(注2)	01
秋田県立 能代工業高等学校	建築・木材科 建築コース(注1)	10
秋田県立 横手清陵学院 高等学校	総合技術科 環境工学類 土木系(注1)	01
	総合技術科 環境工学類 建築系(注1)	10
	総合技術科 環境工学類(注1) 〈平成21年度以降の入学者〉	
石川県立 飯田高等学校	総合学科 住居デザイン系(注1)	
石川県立 翠星高等学校	総合グリーン科学科 アーステクノロジー系(注1)(注2)	01
	総合グリーン科学科 グリーンデザイン系(注1)(注2)	
石川県立 羽咋工業高等学校	建設造形科 土木コース(注1)	
	建設造形科 土木系(注1)	
	建設造形科 建築コース(注1)	10
	建設造形科 建築系(注1)	
石川県立 松任農業高等学校	環境工学科	01
石川県立 輪島実業高等学校	インテリア科 建設コース(注1)	
茨城県立 つくば工科高等学校	建築デザイン科	10
茨城県立 谷田部高等学校	建築デザイン科	
岩手県立 岩谷堂高等学校	総合学科 産業工学系列(注1)(注2)	01
	総合学科 平成27年度以降の入学者(注2)	
岩手県立 岩谷堂農林高等学校	産業工学科 土木コース(注1)	
岩手県立 久慈工業高等学校	建設環境科 環境土木コース(注1)	
	建設環境科 建築コース(注1)	10
岩手県立 花巻農業高等学校	農芸工学科	02
	環境科学科	
岩手県立 水沢工業高等学校	インテリア科	10
岩手県立 宮古工業高等学校	建築設備科	08
岩手県立 盛岡工業高等学校	建築・デザイン科	10
愛媛県立 西条農業高等学校	グリーン環境科(注2)	11
愛媛県立 八幡浜工業高等学校	機械土木工学科 土木コース(注1) 〈平成29年度以降の入学者〉	01
愛媛大学農学部 附属農業高等学校	総合学科(注2)	02
大分県立 佐伯鶴岡高等学校	システム工業科 都市環境コース(注1)	01
大分県立 佐伯豊南高等学校	工業技術科(土木系)(注1)	
大分県立 日出暘谷高等学校	総合学科 環境プランニング系列(注1)	10
大阪市立工芸高等学校	建築デザイン科	

学校名(50音順)	学　科　名	学科コード
大阪府立 今宮工科高等学校	建築系 建築設計専科(注1)	10
	建築系 建築生産専科(注1)	
	建築系 建築専科(注1) 〈平成26年度以降の入学者〉	
	工学系 大学進学専科(注1)(注2) 〈平成28年度以降の入学者〉	
	定時制課程 総合学科 建築系列(注1)(注2)	
大阪府立 西野田工科高等学校	建築都市工学系 建築システム専科(注1)	
	建築都市工学系 都市工学科(専科)(注1)	07
大阪府立 布施工科高等学校	建築設備系 建築システム専科(注1)	10
	建築設備系 設備システム専科(注1)	08
大牟田高等学校	総合学科 システム技術系列(建築)(注1)	10
岡山県立 勝間田高等学校	農業課程 グリーン環境科	11
岡山県立新見高等学校	工業技術科 土木コース(注1)	01
岡山県立弓削高等学校	環境技術科 環境工学コース(注1)	02
岡山商科大学付属 高等学校	総合学科(注2) 〈平成19年度以前の入学者〉	07
沖縄県立 浦添工業高等学校	インテリア科 〈平成29年度以降の入学者〉	10
沖縄県立 沖縄工業高等学校	定時制課程 工業技術科 建築施工コース(注1)	
沖縄県立翔南高等学校	海洋科学科 海洋土木コース(注1)	01
沖縄県立 名護商工高等学校	電建システム科 建築技術コース(注1)	10
沖縄県立 南部工業高等学校	電気設備科 設備工学コース(注1)	08
	IT環境科 住居環境コース(注1)	
	建築設備科 建築デザインコース(注1) 〈平成29～30年度の入学者〉	10
	建築設備科 設備工学コース(注1) 〈平成29～30年度の入学者〉	
沖縄県立 南部農林高等学校	環境創造科	11
沖縄県立 北部工業高等学校	電建システム科 建築技術コース(注1)	10
沖縄県立 宮古総合実業 高等学校	海洋科学科 海洋工学コース(注1)	01
	食と環境科 環境クリエイトコース(注1) 〈平成25年度以降の入学者〉	02
沖縄県立 美来工科高等学校	都市環境科	01
香川県立 石田高等学校	園芸デザイン科 緑地環境コース(注1)	11
	園芸デザイン科 緑地科学コース(注1)	
香川県立 大川東高等学校	環境デザイン科 造園緑地コース(注1)	
香川県立 高松南高等学校	環境科学科 環境土木コース(注1)	02
	環境科学科 都市園芸コース(注1)	11
香川県立 農業経営高等学校	農業経営科 造園専攻(注1)	
	環境園芸科 環境デザイン専攻(注1) 〈平成17年度以降の入学者〉	
鹿児島県立 鶴翔高等学校	総合学科 環境緑地系列(注1)	02
鹿児島県立 鹿児島工業高等学校	建設技術系(注1)	01
	インテリア系(注1)	10
	建築系(注1)	
鹿児島実業 高等学校	総合学科(注2) 〈平成16年度以降の入学者〉	01
神奈川県立 藤沢工科高等学校	総合技術科 都市土木系(注1) 〈平成15年度以降の入学者〉 〈平成15～19年度の入学者は(注2)〉	
	総合技術科 住環境系(注1) 〈平成15年度以降の入学者〉 〈平成15～19年度の入学者は(注2)〉	08
	総合技術科 建築系(注1) 〈平成15年度以降の入学者〉 〈平成15～19年度の入学者は(注2)〉	10
神奈川県立 吉田島総合高等学校	総合学科(注2)	02
	総合学科 地域環境系列(注1)(注2)	

学校名(50音順)	学　科　名	学科コード
金沢市立工業高等学校	本科 第2部(定時制) 産業技術科 建築コース(注1)	10
関東第一高等学校	建築ビジュアル科	10
岐阜県立恵那農業高等学校	環境科学科	01
岐阜県立大垣養老高等学校	環境園芸科	11
	環境科学科	11
岐阜県立岐阜農林高等学校	森林科学科	11
	環境科学科	02
岐阜県立高山工業高等学校	建築インテリア科 建築類型(注1)	10
岐阜県立飛騨高山高等学校	環境科学科	02
岐阜県立斐太農林高等学校	環境科学科 環境土木コース(注1)	02
京都市立京都工学院高等学校	プロジェクト工学科 ものづくり分野 建築デザイン領域(注1)	10
	プロジェクト工学科 ものづくり分野 都市デザイン領域(注1)	07
京都市立伏見工業高等学校	システム工学科 都市情報システムコース(注1)	01
	システム工学科 住環境システムコース(注1)	10
	定時制課程 工業技術科 土木系(注1)	01
	定時制課程 工業技術科 建築系(注1)	10
	定時制課程 都市建設科 土木コース(注1)	01
	定時制課程 都市建設科 建築コース(注1)	10
熊本県立阿蘇清峰高等学校	環境科学科	02
	林業・農業土木科(注2)	02
熊本県立阿蘇中央高等学校	グリーン環境科	10
熊本県立翔陽高等学校	総合学科(注2)	10
熊本県立水俣高等学校	電気建築システム科 建築コース(注1)〈平成24年度以降の入学者〉	10
群馬県立高崎工業高等学校	定時制 工業技術科 都市デザインコース(注1)〈平成29年度以降の入学者〉	10
群馬県立利根実業高等学校	環境技術科 建設コース(注1)	01
	環境技術科 土木コース(注1)	01
	環境技術科 建築コース(注1)	10
群馬県立中之条高等学校	環境工学科	01
群馬県立前橋工業高等学校	材料・設備科 設備システムコース(注1)	08
光星学院高等学校	工業技術科 建設技術コース(注1)	10
光星学院野辺地西高等学校	総合学科(注2)	10
高知県立高知園芸高等学校	環境デザイン科	11
高知県立幡多農業高等学校	グリーン環境科 森林工学コース(注1)	02
神戸市立神戸工業高等学校	インテリア科	10
埼玉県立いずみ高等学校	環境デザイン科	11
埼玉県立大宮工業高等学校	定時制課程(単位制) 工業技術科 建築類型(注1)	10
埼玉県立川越総合高等学校	総合学科(注2)	02
埼玉県立児玉白楊高等学校	環境デザイン科	11
埼玉県立児玉農工高等学校	環境デザイン科	11
堺市立堺高等学校	建築インテリア創造科	10
	定時制課程 建築創造科	10
滋賀県立安曇川高等学校	総合学科 建築デザイン系(注1)〈平成19年度以降の入学者は(注2)〉	10
滋賀県立長浜農業高等学校	環境デザイン科	11

学校名(50音順)	学　科　名	学科コード
滋賀県立長浜北星高等学校	総合学科(注2)	10
滋賀県立彦根工業高等学校	建築・設備科	10
滋賀県立八日市南高等学校	緑地デザイン科	11
静岡県立磐田農業高等学校	環境科学科 環境土木コース(注1)	02
	農業・環境科学科 環境工学コース(注1)	02
静岡県立小笠高等学校	総合学科(注2)	02
静岡県立科学技術高等学校	建築デザイン科	10
	都市基盤工学科	07
静岡県立静岡農業高等学校	環境科学科 環境土木系列(注1)	02
	環境科学科 環境保全系列(注1)	02
静岡県立天竜高等学校	総合学科 建築系列(注1)	10
	環境システム科	01
	建築デザイン科	10
	森林科学科	10
静岡県立天竜林業高等学校	環境システム科	01
	建築デザイン科	10
	生産流通科	10
静岡県立沼津工業高等学校	定時制 工業技術科 建築類型(注1)	10
	都市環境工学科〈平成31年度以降の入学者〉	07
静岡県立浜松工業高等学校	定時制課程 工業技術科 建築専攻(注1)	10
	定時制課程 工業技術Ⅲ科	10
静岡県立富岳館高等学校	総合学科 建設デザイン系列(注1)	01
	総合学科 建設インテリア系列(注1)	01
島根県立出雲工業高等学校	環境システム科	08
島根県立出雲農林高等学校	植物科学科 景観施工コース(注1)	02
	生産環境科 地域開発コース(注1)	02
	環境科学科	02
島根県立邇摩高等学校	総合学科 環境系列(注1)	02
	総合学科 地域産業系列(注1)	02
島根県立益田翔陽高等学校	環境土木科	02
	生物環境工学科 環境土木コース(注1)(注2)	02
島根県立松江工業高等学校	建築都市工学科 都市工学コース(注1)	01
	建築都市工学科 建築コース(注1)	10
昭和第一学園高等学校	工学科 建築デザインコース(注1)	10
如水館高等学校	都市デザイン科 A選択(注1)	10
	都市デザイン科 B選択(注1)	01
高川学園高等学校	総合学科 建築系列(注1)(注2)	10
多々良学園高等学校	総合学科 建築系列(注1)(注2)	10
千葉県立安房拓心高等学校	総合学科(注2)	02
千葉県立君津青葉高等学校	総合学科(注2)	01
	総合学科 環境系(注1)	11
千葉県立流山高等学校	生活科学科	11
千葉県立成田西陵高等学校	環境建設科 土木コース(注1)	01
	環境建設科 建設コース(注1)	11
	環境建設科 造園コース(注1)	11
	環境建設科 ランドスケープデザインコース(注1)	11
千葉県立茂原樟陽高等学校	緑地計画科	11
帝京第五高等学校	総合学科 情報建築系列(注1)	10
東京都立墨田工業高等学校	定時制課程 総合技術科 建築大工コース(注1)	10
	定時制課程 総合技術科 建築デザインコース(注1)	10
東京都立総合工科高等学校	定時制課程 総合技術科 建築コース(注1)	10
	建築・都市工学科 建築類型(注1)	10
	建築・都市工学科 都市工学類型(注1)	01
東京都立農業高等学校	緑地計画科	11
東京都立農芸高等学校	緑地環境科	11
徳島県立阿南工業高等学校	情報土木コース(注1)	01

学校名(50音順)	学　科　名		学科コード
徳島県立 阿南光高等学校	工業科 都市環境システム科		07
徳島県立 徳島科学技術 高等学校	総合技術系	環境土木コース(注1)(注2)	01
	建設技術類	建築コース(注1)	10
	定時制 工業技術類 建築コース(注1)		
徳島県立 徳島工業高等学校	工業Ⅰ類	都市システムコース(注1)	01
		土木工学コース(注1)	
		建築コース(注1)	10
栃木県立 宇都宮工業高等学校	インテリア整備科 設備工業コース(注1)		
	建築デザイン科		
	環境整備科		08
	定時制課程 工業技術科 土木コース(注1)(注2)		01
鳥取県立 倉吉農業高等学校	農業学科 農林科 造園土木コース(注1)		11
鳥取県立 智頭農林高等学校	農業学科 林業技術科		02
鳥取県立 鳥取工業高等学校	工業学科	都市環境科	01
		建築環境科	10
鳥取県立 鳥取湖陵高等学校	農業学科 緑地デザイン科 環境緑化コース(注1)(注2)		11
鳥取県立 米子工業高等学校	都市環境科 建設コース(注1)		01
	環境テクノロジー科 土木類型(注1)		
	工業学科 環境デザイン科(注2)		10
富山県立 高岡工芸高等学校	土木環境科 土木工学コース(注1)		01
富山県立 中央農業高等学校	園芸デザイン科 環境緑化コース(注1)		11
富山県立 南砺総合高等学校 福野高等学校	農業環境科 環境緑地コース(注1)		01
富山県立 南砺福野高等学校	農業環境科 造園土木類型(注1)		11
富山県立 福野高等学校	農業環境科 環境緑地コース(注1)		01
富山県立 二上工業高等学校	環境科学科 環境土木コース(注1)		
長崎県立 大村城南高等学校	総合学科 環境デザイン系列(注1)		
	専門課程 環境デザイン科		
	総合学科(注2)		11
長崎県立 鹿町工業高等学校	土木技術科		01
長崎県立 長崎工業高等学校	インテリア科		10
長野県飯田OIDE 長姫高等学校	社会基盤工学科		01
長野県 上伊那農業高等学校	緑地創造科(注2)		02
長野県 木曽山林高等学校	林業科	土木コース(注1)	
		土木工学コース(注1)	
長野県塩尻高等学校	総合学科 環境科学系列(注1)(注2)		
長野県 中野立志館高等学校	総合学科(注2)		
	総合学科 土木系列(注1) 〈平成25年度以降の入学者〉		01
	総合学科 建築系列(注1)		10
長野県 長野工業高等学校	環境システム科		08
長野県 丸子修学館高等学校	総合学科(注2)		01
長野県 南安曇農業高等学校	環境 クリエイト科	デザインコース(注1)	11
		テクニカルコース(注1)	
		施工テクニカルコース(注1)	
		設計エンジニアコース(注1)	
		環境デザインコース(注1)	
奈良県立 磯城野高等学校	環境デザイン科	造園緑化コース(注1)	
		緑化デザインコース(注1)	
奈良県立 山辺高等学校	総合学科 生物生産・地域振興系列(注1)		

学校名(50音順)	学　科　名		学科コード
新潟県立 糸魚川白嶺高等学校	総合学科(注2)		01
新潟県立 塩沢商工高等学校	機械システム科(注2)		
新潟県立 新発田農業高等学校	環境科学科 緑地環境コース	造園選択(注1)	11
		測量選択(注1)	
	環境科学科 ガーデニング専攻(注1)		10
新潟県立 新津工業高等学校	日本建築科		
八戸学院 光星高等学校	工業技術科 工業技術コース(注1)		
八戸工業大学第一 高等学校	工業科	土木コース(注1)	01
		建築コース(注1)	10
兵庫県立 龍野北高等学校	環境建設工学科		
兵庫県立 豊岡総合高等学校	環境建設工学科	建築類型(注1)	
		土木類型(注1)	01
兵庫県立 農業高等学校	農業環境工学科		02
兵庫県立 兵庫工業高等学校	都市環境工学科(注2)		01
広島県立 沼南高等学校	環境デザイン科		
広島県立 世羅高等学校	環境科学科 環境保全類型(注1)		02
広島県立 総合技術高等学校	環境設備科 〈平成29年度以前の入学者は(注2)〉		10
広島県立 三次青陵高等学校	総合学科(注2)		01
広島県立 吉田高等学校	地域開発科		02
広島市立 広島工業高等学校	環境設備科		08
	都市環境科		01
福井県立 大野東高等学校	情報・建設科 建設コース(注1)		
	情報建設科 建設コース(注1)		
福井県立 坂井農業高等学校	環境システム科		02
福井県立 武生工業高等学校	都市・建築科	建築コース(注1)	10
		都市工学コース(注1)	01
福井県立 若狭東高等学校	地域創造科 地域開発コース(注1)		
	産業技術科 建設コース(注1)		
福井工業大学附属 福井高等学校	工業科	土木コース(注1)(注2)	
		建築コース(注1)(注2)	10
福岡県立 浮羽工業高等学校	環境デザイン科 環境建設コース(注1) 〈平成29年度以降の入学者〉		01
福岡県立 大川樟風高等学校	住環境システム科		10
福岡県立 鞍手農業高等学校	産業技術科Ⅰ		02
福岡県立 田川科学技術高等学校	システム科学技術科 建築・環境創造専攻(注1)		10
福島県立 会津工業高等学校	建築インテリア科 〈平成19年度以降の入学者〉		
	建築インテリア科 建築コース(注1)		
福島県立 郡山北工業高等学校	環境システム科		08
福島県立 福島工業高等学校	定時制課程 工業科 建築コース(注1)		10
福島県立 双葉翔陽高等学校	総合学科(注2)		02
文徳高等学校	総合科学科	建設システム専攻(注1)	10
		建設専攻(注1)	
		建築インテリア専攻(注1)	
	理工科	建築インテリア専攻(注1)	
北海道 岩見沢農業高等学校	農業土木工学科		02
北海道 小樽工業高等学校	電気・建築科 建築コース(注1) 〈平成30年度以降の入学者〉		10

学校名(50音順)	学　科　名		学　科コード
北海道 留萌千望高等学校	電気・建築科 建築コース(注1) 〈平成23年度以降の入学者〉		01
三重県立 上野農業高等学校	景観園芸科 景観創造コース(注1)		
三重県立相可高等学校	環境創造科		02
三重県立 鼎学園高等学校	総合技術科 土木系	コンサルタントコース(注1) オペレータコース(注1)	
	総合学科(注2)		
三重県立 四日市工業高等学校	定時制課程 住システム工学科 建築コース(注1)		10
	定時制課程 工業技術科 建築コース(注1)		
宮城県石巻工業高等学校	土木システム科		01
宮城県上沼高等学校	農業技術科 土木技術類型(注1)		
宮城県黒川高等学校	環境技術科		
宮城県工業高等学校	インテリア科		10
宮城県迫桜高等学校	総合学科(注2)		01
宮城県 古川工業高等学校	土木情報科		
宮崎県立 小林秀峰高等学校	建築環境科		10
宮崎県立 小林工業高等学校	建築環境科		
宮崎県立 日南工業高等学校	建築環境科		
山形県立 置賜農業高等学校	食料環境科 環境系統(注1)(注2)		02
山形県立 酒田工業高等学校	環境技術科		01
	土木システム科		
山形県立 酒田光陵高等学校	環境技術科		
山形県立 新庄神室産業高等学校	環境デザイン科(注2)		
	建設システム科	土木技術コース(注1)	
		建築コース(注1)	10
	建築デザイン科 建築コース(注1)		
山形県立 長井工業高等学校	環境システム科	環境技術コース(注1)	
		都市工学コース(注1)	01
山形県立 山形工業高等学校	土木・化学科 土木技術コース(注1) 〈平成29年度以降の入学者〉		
	土木環境システム科 土木技術コース(注1)		
	環境システム科	平成20年度以降の入学者 土木技術コース(注1)	

学校名(50音順)	学　科　名		学　科コード
山形県立 米沢工業高等学校	建設環境類	土木コース(注1)	01
		建築コース(注1)	10
	建設系	土木コース(注1)	01
		建築コース(注1)	10
		都市環境コース(注1)	
		建築設備コース(注1)	08
山形電波工業 高等学校	やまがた創造工学科 住環境デザインコース(注1) 〈平成21年度以降の入学者〉		01
山口県立 萩商工高等学校	機械・土木科 土木コース(注1)		
	電気・建築科 建築コース(注1)		10
山口県立 宇部西高等学校	総合学科(注2)		11
山口県立 徳山工業高等学校	環境システム科 環境土木コース(注1)		01
山口県立 徳山商工高等学校	環境システム科 環境土木コース(注1)		
山口県立 柳井工業高等学校	建築・情報科 建築コース(注1)		10
山口県立 柳井商工高等学校	建築・電子科 建築コース(注1)		
	建築・情報科 建築コース(注1)		
山口県立 山口農業高等学校	環境科学科	農業土木コース(注1)	01
		森林資源コース(注1) 〈平成25年度以降の入学者〉	03
	森林資源科(注2)		11
山梨県立 峡南高等学校	建築インテリア科 建築コース(注1)		10
	土木システム科		01
山梨県立 富士北稜高等学校	建築デザイン系列(注1)		10
山梨県立 北杜高等学校	総合学科	環境工学系列(注1)	01
		環境科学系列(注1)	
れいめい高等学校	工学科	平成28年度以降の入学者	10
		建築コース(注1)	
		土木コース(注1)	01
和歌山県立 熊野高等学校	森林科学科 土木コース(注1)		
	総合学科 環境システム系列(注1)(注2)		
和歌山県立 新翔高等学校	総合学科 建設技術系列(注1)		
和歌山県立 和歌山工業高等学校	インテリア科		10

高等専門学校 専攻科について

高等専門学校を卒業後、高等専門学校 専攻科を修了された方だけが下表の対象となります。

大学卒業と同等以上と認められている高等専門学校 専攻科の学校名・学科名は次表のとおりです。

高等専門学校の卒業証明書と専攻科の修了証明書の両方が必要です。

受験申込書の学校コードは、**1.大学**として記入して下さい。

なお、次表にあてはまらない方は、一つ前の学歴が最終学歴となります。

(注1) 学科においてコース・講座・専攻等の指定がある場合は、コース・講座・専攻等が記載された卒業証明書または、成績証明書が必要です。

(注2) 履修科目および単位数により指定学科となる学科については、卒業証明書のほかに、成績証明書または履修証明書が必要です。履修科目および単位数は、当協会事務局にお問い合わせ下さい。

学校名(50音順)	学　科　名	学　科コード
明石工業高等専門学校	同校の建築学科、都市システム工学科もしくは高等専門学校(5年制)の指定学科を卒業後、同校専攻科「建築・都市システム工学専攻」の修了者	10
秋田工業高等専門学校	同校の環境都市工学科を卒業後、同校専攻科「環境システム工学専攻」の修了者	01
阿南工業高等専門学校	同校の建設システム工学科を卒業後、同校専攻科「構造設計工学専攻」の修了者	
有明工業高等専門学校	同校の建築学科を卒業後、同校専攻科「建築学専攻」の修了者	10

学校名（50音順）	学　科　名	学　科 コード
石川工業高等専門学校	同校の環境都市工学科を卒業後、同校専攻科「環境建設工学専攻」の修了者（ただし、平成23年度以前の入学者は（注2））	01
大分工業高等専門学校	同校の土木工学科または都市システム工学科または都市・環境工学科を卒業後、同校専攻科「機械・環境システム工学専攻」の修了者	
小山工業高等専門学校	専攻科 複合工学専攻・建築学コース（旧 専攻科 建築学専攻）の修了者（注1）（ただし、平成16年度以降の入学者は（注2））	10
香川高等専門学校 （旧 高松工業高等専門学校）	同校の建設環境工学科を卒業後、同校専攻科「創造工学専攻 建設環境工学コース（旧 建設工学コース）」の修了者（注1）	01
鹿児島工業高等専門学校	同校の土木工学科を卒業後、同校専攻科「土木工学専攻」の修了者（平成12年度以降の入学者）	
	同校の都市環境デザイン工学科を卒業後、同校専攻科「建設工学専攻」の修了者（注2）（平成27年度以降の入学者）	
木更津工業高等専門学校	同校（5年制）の本科環境都市工学科（平成16年度以降の入学者）を卒業後、同校専攻科「環境建設工学専攻」の修了者（平成21年度以降の入学者）	
岐阜工業高等専門学校	同校の環境都市工学科、建築学科、土木工学科を卒業後、同校専攻科「建設工学専攻」の修了者	
近畿大学工業高等専門学校	専攻科「生産システム工学専攻（土木工学専攻）」の卒業者（注1）	
熊本高等専門学校 （旧 八代工業高等専門学校）	高等専門学校（5年制）の土木工学に関する学科を卒業後、同校専攻科「生産システム工学専攻（旧環境建設工学専攻）」の修了者	
呉工業高等専門学校	同校の環境都市工学科、土木工学科、建築学科を卒業後、同校専攻科「建設工学専攻」の修了者	
高知工業高等専門学校	高等専門学校（5年制）の土木工学に関する学科を卒業後、同校専攻科「建設工学専攻」の修了者	
神戸市立工業高等専門学校	同校の都市工学科を卒業後、同校専攻科「都市工学専攻」の修了者	07
仙台高等専門学校 （旧 宮城工業高等専門学校）	同校の建築学科を卒業後、同校専攻科「建築・情報デザイン学専攻」の修了者	10
	同校の建築デザイン学科を卒業後、同校専攻科「生産システムデザイン工学専攻 建築デザイン学コース」の修了者（注1）（注2）	
徳山工業高等専門学校	高等専門学校（5年制）の土木工学に関する学科を卒業後、同校専攻科「環境建設工学専攻」の修了者	01
苫小牧工業高等専門学校	同校の環境都市工学科を卒業後、同校専攻科「環境システム工学専攻」の修了者	
豊田工業高等専門学校	高等専門学校（5年制）の土木工学に関する学科を卒業後、同校専攻科「建設工学専攻」の修了者	
	同校の環境都市工学科を卒業後、同校専攻科「建設工学専攻 土木工学コース」の修了者（注1）	
	同校の建築学科を卒業後、同校専攻科「建設工学専攻 建築学コース」の修了者（注1）	10
長岡工業高等専門学校	同校の環境都市工学科を卒業後、同校専攻科「環境都市工学専攻」の修了者（注2）	07
長野工業高等専門学校	同校の環境都市工学科を卒業後、同校専攻科「生産環境システム専攻」の修了者	10
函館工業高等専門学校	同校の環境都市工学科を卒業後、同校専攻科「環境システム工学専攻」の修了者	01
八戸工業高等専門学校	同校の建設環境工学科を卒業後、同校専攻科「建設環境工学専攻」の修了者	
	専攻科 産業システム工学専攻「環境都市・建築デザインコース」（平成22年度以降の入学者）の卒業者（注1）	
福井工業高等専門学校	同校の環境都市工学科を卒業後、同校専攻科「環境システム工学専攻」の修了者（ただし、平成18年度以前の入学者は（注2））	
福島工業高等専門学校	同校の建設環境工学科を卒業後、同校専攻科「物質・環境システム工学専攻」の修了者	
舞鶴工業高等専門学校	同校の建設システム工学科を卒業後、同校専攻科「建設・生産システム工学専攻」の修了者	
松江工業高等専門学校	同校の土木工学科または環境・建設工学科を卒業後、同校専攻科「生産・建設システム工学専攻」の修了者	
都城工業高等専門学校	同校の建築学科を卒業後、同校専攻科「建築学専攻」の修了者	10
米子工業高等専門学校	同校（5年制）の本科建築学科（平成19年度以降の入学者）を卒業後、同校専攻科「建築学専攻」の修了者（平成24年度以降の入学者）	
和歌山工業高等専門学校	同校の環境都市工学科を卒業後、同校専攻科「エコシステム工学専攻」の修了者	01

専修学校（専門学校）等について

短期大学の指定学科卒業と同等以上と認められる専修学校等の学校名・学科名は次表のとおりです。

該当した場合のみ受験申込書の学校コードを、**2.短大**として記入して下さい。

該当しない場合は一つ前の学歴が最終学歴となり、専修学校(専門学校)を最終学歴として扱うことはできません。ただし、該当しない場合でも「高度専門士」「専門士」の称号を付与された方は、それぞれ指定学科以外の「大学卒業」「短期大学卒業」と同等以上と扱われます。

（注１）学科においてコース・講座・専攻等の指定がある場合は、コース・講座・専攻等が記載された卒業証明書または、成績証明書が必要です。

（注２）履修科目および単位数により指定学科となる学科については、卒業証明書のほかに、成績証明書または履修証明書が必要です。履修科目および単位数は、当協会事務局にお問い合わせ下さい。

学校名(50音順)	学　科　名		学　科コード
あいち建築デザイン専門学校	工業専門課程	建築工学科、大工技術科、建築設備科、インテリアデザイン科、土木工学科、測量設計科、自然環境デザイン科	10
愛知工業専門学校	工業専門課程	建築科第１部、建築インテリア科第１部	10
		測量設計科第１部、地域環境デザイン科第１部	01
青山製図専門学校	環境開発設計科、土木設計製図科		01
	住宅設計デザイン科（平成27年度以降の入学者）		10
秋田建築デザイン専門学校	専門課程	建築設計科（平成21年度以降の入学者）	10
浅野工学専門学校	工業専門課程	コンクリート・土木学科	01
		建築デザイン科、建築ＣＡＤ科	10
麻生建築＆デザイン専門学校	工業専門課程	建築工学科（３年課程）、建築学科（昼間・夜間）、	10
		建築ＣＡＤ科（昼間）、インテリアデザイン科（昼間）	
麻生工科専門学校	工業専門課程	環境土木学科	01
専門学校穴吹カレッジ	工業専門課程	建築デザイン学科	10
宇都宮日建工科専門学校	工業専門課程	土木ＣＡＤ設計科、建築ＣＡＤ設計科、建築設計科	01
専門学校ＥＳＳＥテクノカレッジ金沢	環境建設科、都市工学科		
ＮＳＣデザイン工科カレッジ	工業専門課程	環境土木科	
エフォーツ実務技能専門学校	工業専門課程	土木工学科、測量環境学科	
エフォーツ測量建築専門学校	工業専門課程	測量環境学科	
大分環境測量建築専門学校	工業専門課程	測量環境学科	
大分環境デザインカレッジ	工業専門課程	測量環境学科	
大阪科学工業専門学校	工業専門課程	土木工学科	
大阪工業技術専門学校	工業専門課程	建設土木学科、環境土木学科	01
		建築総合学科、建築学科（Ⅰ・Ⅱ部）、建築技能学科、住宅設計ものづくり学科、建築ものづくり学科、大工技能ものづくり学科、大工技能学科、フレックス建築学科、建築設計学科（平成25年度以前の入学者は(注2)）、設備環境デザイン学科、建築実務学科(注2)、建築設備学科(注2)、インテリア学科(注2)、インテリアデザイン学科(注2)	10
大阪デジタルテクノ専門学校	工業専門課程	土木工学科	01
岡山科学技術専門学校	測量土木工学科、測量環境工学科、環境デザイン学科		
岡山情報ビジネス学院	工業専門課程	建築ＣＡＤデザイン学科、建築ＣＡＤ設計学科	10
岡山理科大学専門学校	工業専門課程	建築学科（昼間部・夜間部）	
鹿児島建設専門学校	工業専門課程	建設工学科、建設環境学科	01
		建築デザイン学科	10

学校名(50音順)	学　科　名			学　科 コード
鹿児島工学院専門学校	工業専門課程	建築デザイン学科		10
鹿児島測量専門学校	工業専門課程	建設工学科		01
		建築デザイン学科		10
岐阜県立国際園芸アカデミー	上級マイスター科(前期課程修了者)(注2)			01
ＣＡＤ製図専門学校	工業専門課程	ＣＡＤ製図科	建築コース(昼間部)(注1)	10
			土木コース(昼間部・夜間部)(注1)	01
九州工業技術専門学校	工業専門課程	土木工学科		
九州整備技術専門学校	土木工学科			
九州測量専門学校	工業専門課程	土木建設科		
九州理工学院	工業専門課程	環境土木工学科		
		建築環境工学科(建築コース)(注1)		10
九州理工専門学校	工業専門課程	土木工学科		01
京都建築専門学校	工業専門課程	建築科二部		10
京都建築大学校	工業専門課程	都市工学科		07
京都国際建築技術専門学校	工業専門課程	都市工学科		
専修学校熊本ＹＭＣＡ学院	工業専門課程	環境建設学科		01
建設実務専門学校	建築専門課程	土木工学科		
建設大学校	海外建設協力課程	建設工学科		
工学院大学専門学校 (旧 工学院大学専修学校)	工業専門課程	土木科(昼間部・夜間部)		
		建築科(昼間部・夜間部)、建築科(第1・2部)、 建築設備科(夜間部)、第1部インテリア・デザイン科		10
専門学校国際情報工科大学校	工業専門課程	造園・環境土木科		01
		造園土木科、地域環境学科		11
国際ソフトウエア専門学校	工業専門課程	土木工学科、情報工学科(土木コース)(注1)		01
神戸科学工業専門学校	工業専門課程	土木工学科		
神戸デジタル専門学校	工業専門課程	土木工学科		
神戸電子専門学校	建築インテリアデザイン学科(平成29年度以降の入学者)			10
郡山情報ビジネス専門学校	工業専門課程	土木・測量工学科		01
郡山テクノデザイン専門学校	工業専門課程	土木・測量工学科		
国際アート＆デザイン専門学校	工業専門課程	土木・測量工学科		
国際情報工科専門学校	工業専門課程	土木測量工学科		
		環境デザイン工学科、造園・環境土木科		10
国土建設学院	工業専門課程	環境土木工学科、土木工学科、水工土木工学科、 上下水道工学科、測量土木技術科、土木地質工学科		01
		都市工学科、都市建設工学科		07
サイ・テク・カレッジ	工業専門課程	環境土木学科		01
		環境建築学科		10
サイ・テク・カレッジ那覇	工業専門課程	環境土木科		01
サイ・テク・カレッジ美浜	工業専門課程	環境土木学科		
		環境建築学科		10
札幌建築デザイン専門学校	専門課程	建築工学科		
		土木工学科		01

学校名(50音順)	学　科　名			学　科 コード
札幌工科専門学校	専門課程	建設システム学科、土木工学科、環境土木工学科		01
		環境土木・造園施工管理科 環境土木コース(１年制)(注1)		
		環境土木・緑地施工管理科 環境土木コース(１年制)(注1)		
		専攻科(建設システム学科を卒業した者に限る)		
札幌デジタル専門学校	工業専門課程	土木工学科		
札幌土木技術専門学校	専門課程	土木工学科		
札幌理工学院	工業専門課程	土木工学科、測量工学科		
		建築工学科		10
札幌理工学院専門学校	工業専門課程	土木工学科、測量工学科		01
		建築工学科		10
産業開発青年隊 (旧 建設大学校中央訓練所)	３ヵ年課程の修了者			01
静岡産業技術専門学校	建築科			10
修成建設専門学校	工業専門課程	第１本科(昼)	土木工学科、都市デザイン学科、 建設エンジニア学科	01
		第２本科(夜)	土木工学科(昭和52年度以降の卒業者)	
		第１本科	都市開発工学科(土木建築コース)(注1)	
		第１本科(昼)	建築学科、建築工学科、総合建築学科、 建築ＣＧデザイン学科、女子建築設計科、 空間デザイン学科、木匠学科、 住環境リノベーション学科	10
		第２本科(夜)	建築学科、建築工学科、建築デュアルシステム科	
		第１本科(昼)	ガーデンデザイン学科、緑化造園学科	11
		第１本科	緑の学科	
昭和第一工業技術専門学校	土木工学科(夜間部)			01
仙台科学工業専門学校	工業専門課程	土木工学科		
仙台工科専門学校	工業専門課程	土木工学学科、環境土木工学科		
仙台情報工科専門学校	工業専門課程	土木工学学科		
仙台デジタルテクノ専門学校	工業専門課程	土木工学科		
智泉ライセンスカレッジ	工業専門課程	測量環境学科		
智泉福祉製菓専門学校	工業専門課程	測量環境学科		
中央工学校	工業専門課程	土木建設科、土木工学科、シビルエンジニア科、土木開発科、 土木科、下水道土木工学科、造園土木工学科、造園建設科、 土木測量科		
		建築工学科、建築設計科、女子建築設計科、建築設備設計科、 建築設備工学科、建築科、建築設備科、インテリア工学科、 建築室内設計科、建築意匠設計科、 建築設計科(キャリアアップコース)(注1)、 木造建築科、エンターテインメント設営科		10
		造園デザイン科		11
中央工学校ＯＳＡＫＡ	工業専門課程	建築学科、インテリアデザイン科、建築工学システム学科、住 宅デザイン科、建築ＣＧデザイン科、空間ＣＧデザイン科、 建設情報科		10
中央実務専門学校	工業専門課程	建築工学科、建築設計科、建築設備設計科、インテリア設計科、 インテリア研究科(夜間)、福祉建築デザイン科、測量建設科		
中部コンピュータアンドテクノロジー専門学校	工業専門課程	土木工学科		01
中部測量専門学院	工業専門課程	測量設計科		

学校名(50音順)	学　科　名			学　科 コード
筑波研究学園専門学校	工業専門課程	土木工学科、土木設計学科、土木・測量工学科、測量設計学科、測量情報学科、土木環境学科		01
		建築学科		10
		建築環境学科	建築土木施工コース(注1)(平成22年度以降の入学者)	
			建築土木技術コース(注1)(平成28年度以降の入学者)	
デジタル東京専門学校	土木工学科			01
東海工業専門学校	工業専門課程	土木工学科(昼間部)、測量設計科(昼間部)、環境建設科(昼間部)		
		建築設備科(昼間部)、建築工学科(昼間部・夜間部)、大工技術科(昼間部)、自然環境デザイン科(昼間部)		10
東海工業専門学校熱田校	工業専門課程	環境建設科(昼間部)		01
		建築設備科(昼間部)、建築工学科(昼間部・夜間部)		10
東海工業専門学校金山校	工業専門課程	土木工学科(昼間部)、測量設計科(昼間部)		01
		建築工学科(昼間部・夜間部)、建築インテリア科(昼間部・夜間部)、インテリアデザイン科、建築設備科(昼間部)、大工技術科(昼間部)、自然環境デザイン科(昼間部)		10
東京科学情報システム専門学校	土木工学科			01
東京科学電子工業専門学校	工業専門課程	土木工学科		
東京工業専門学校	土木建設学科、土木工学科			
東京工業専門学校広島校	工業専門課程	土木工学科		
東京製図専門学校	土木設計製図科、土木工学科			
	建築施工管理学科(3年制)(土木施工管理コース)(注1)			10
東京デジタルテクニカル専門学校	工業専門課程	土木工学科		01
東京理工専門学校	工業専門課程	土木工学科		
東北工科情報専門学校	工業専門課程	土木環境工学科		
東北測量専門学校	工業専門課程	測量建設科		
東北文化学園専門学校	工業専門課程	環境土木科、土木環境工学科、環境エクステリア科		
		建築デザイン科、建築科		10
東北理工専門学校	工業専門課程	土木工学科		01
専門学校都市デザインカレッジ愛知	工業専門課程	建築科第1部、インテリアデザイン科第1部(注2)		10
		地域環境デザイン科第1部		01
トライデントデザイン専門学校	総合デザイン学科　インテリアデザインコース(注1)			10
長崎県立建設大学校	土木科			01
名古屋環境建設専門学校	工業専門課程	環境土木科		
名古屋建築土木専門学校	工業専門課程	土木・測量科		
新潟工科専門学校	工業専門課程	土木開発工学科	土木施工管理コース(注1)	
		建築土木工学科 土木開発工学科	土木施工技術コース(注1)	
			特殊機械オペレーターコース(注1)	
			測量設計コース(注1)	
			環境地質コース(注1)	
			土木・測量士コース(注1)	
		総合土木工学科、土木工学科、測量設計工学科、測量土木設計科(3年制課程)、都市環境建設科、環境測量科		

学校名(50音順)	学　科　名			学科コード
日建工科専門学校	工業専門課程	土木ＣＡＤ設計科、建築ＣＡＤ設計科		01
日本工科専門学校	工業専門課程	都市工学科		01
		建築工学科、建築職人マイスター専攻科(注2)		10
日本工科大学校	工業専門課程	環境建設工学科	土木・造園コース(注1)	01
			建築コース(注1)	10
			建築職人マイスター専攻科(注2)	
日本工学院専門学校	工業専門課程	土木建設科		01
		建築設計科		10
日本工学院八王子専門学校	工科技術専門課程	建築設計科		10
		土木建設科、土木・造園科		01
日本工学院北海道専門学校	工業専門課程	土木工学科、テクノロジー科(環境土木コース)(注1)		01
		建築学科		10
日本国有鉄道中央鉄道学園	大学課程	土木科		01
パシフィックテクノカレッジ学院	工業専門課程	都市システム科、土木環境科		01
		建築学科		10
浜松日建工科専門学校	工業専門課程	建築ＣＡＤ設計科、建築設計科、建築士養成科 建築インテリアデザイン科、インテリアデザイン科		10
ＰＡＮ・ソフトウエア学院	工業専門課程	情報工学科(土木コース)(注1)		01
姫路建設専門学校	工業専門課程	土木工学科、都市工学科		01
広島工学院専門学校	工業専門課程	土木測量工学科		01
		建築工学科		10
広島工学院専門学校西風新都校	工業専門課程	土木測量工学科(土木測量コース、緑化開発コース)(注1)		01
専門学校広島工学院大学校	工業専門課程	建築工学科		10
		土木測量工学科		01
広島工業大学専門学校	工業専門課程	測量土木工学科、まちづくり環境デザイン学科、土木工学科		01
広島デジタル専門学校	工業専門課程	土木工学科		01
福井工業大学別科	工学専修科 土木工学専攻(注1)			01
福岡建設専門学校	土木工学科(昼間部)、土木科(夜間部)			01
	工業専門課程	建築工学科、建築科		01
福岡国土建設専門学校	工業専門課程	測量土木コース	測量設計科(注1)	01
			緑地造園科(注1)	11
		測量設計科		01
		都市環境設計科、測量土木コース都市環境デザイン科(注1)		01
		緑のまちづくり科		07
		緑地造園科、緑地環境工学科		11
福岡デザイン専門学校	総合デザイン科、高度総合デザイン科			10
北陸工業専門学校	工業専門課程	情報測量設計学科、測量学科本科		01
北海道環境福祉専門学校	工業課程	環境保全学科		01
北海道芸術デザイン専門学校	国際建築工学デザイン学科、建築デザイン学科			10
北海道建設工学専門学校	工業専門課程	土木工学科、土木学科		01
北海道建設専門学校	土木科			01

学校名（50音順）	学　科　名		学　科 コード
北海道情報処理専門学校	工業課程	土木情報処理学科、土木工学科	01
北海道測量専門学校	工業専門課程	土木工学科	
北海道中央工学院専門学校	専門課程	建築工学科	10
		土木工学科	01
北海道ハイテクノロジー専門学校	工業専門課程	土木工学技術科	
北海道理工福祉専門学校	工業課程	土木工学科、環境土木学科	
山口情報ビジネス専門学校	建築土木科（土木コース）（注1）、建築土木工学科（土木測量コース）（注1）		
読売九州理工専門学校	工業専門課程	建設システム学科、土木工学科	
読売理工医療福祉専門学校 （旧 読売東京理工専門学校）	工業専門課程	土木建設学科、建設システム学科、土木工学科、 環境システム工学科	
		環境設備学科	08
		建築科、建築学科、建築デザイン学科、建築環境設計学科、 建築設備学科	10

短期大学の指定学科卒業と同等以上と認められる高等学校の専攻科は次表のとおりです。
該当した場合のみ受験申込書の学校コードを、**2．短大**として記入して下さい。
高等学校の専攻科を修了された方は、高等学校の卒業証明書と専攻科の修了証明書の両方が必要です。

学校名（50音順）	学　科　名		学　科 コード
金沢市立工業高等学校	高等学校の指定学科を卒業後、同校専攻科「建築科」の修了者		10
仙台第二工業高等学校	専攻科 工業技術科	土木コース（注1）	01
		建築コース（注1）	10
山梨県立甲府工業高等学校	定時制 専攻科（建築）		

（2）大学の指定学科卒業と同等以上と認められている専修学校等の学校名・学科名は、次表のとおりです。
該当した場合のみ受験申込書の学校コードを、**1．大学**として記入して下さい。

学校名（50音順）	学　科　名		学　科 コード
浅野工学専門学校	工業専門課程	建築工学科	10
中央工学校	工業専門課程	都市環境学科（4年制）	08
		建築学科（4年制）	10
東海工業専門学校金山校	工業専門課程	建設工学科（昼間部）	01
日本工学院専門学校	工業専門課程	建築学科（4年制）	10
日本工学院八王子専門学校	工科技術専門課程	建築学科（4年制）	

（3）高等学校の指定学科卒業と同等以上と認められている専修学校等の学校名・学科名は、次表のとおりです。該当した場合のみ受験申込書の学校コードを、**4．高等学校**として記入して下さい。

学校名（50音順）	学　科　名		学　科 コード
札幌工科専門学校	専門課程	土木・造園施工管理学科（土木施工管理コース）（注１）	01
札幌土木技術専門学校	土木施工管理学科（昼間部）		
中央工学校	工業高等課程 建築技能情報科（平成15～24年度の入学者）		10
東海工業専門学校熱田校	工業高等課程	建築科	
福岡県立福岡高等技術専門校	建築科（平成29年度以降の入学者）		

職業訓練について

２年以上の職業訓練で指定学科に準ずると認められている訓練課程・訓練科は下表のとおりです。
該当する職業訓練を修了された方は「修了証明書」が必要です。
(1) 大学卒業と同等以上と認められている訓練課程・訓練科は、次表のとおりです。
受験申込書の学校コードは、**1.大学**として記入して下さい。
なお、次表にあてはまらない方は、一つ前の学歴が最終学歴となります。

施設名(50音順)	訓練課程・訓練科		学科コード
職業能力開発総合大学校　※	特定応用課程	居住・建築システム技術系 建築施工システム技術科	10
職業能力開発大学校　※	応用課程	居住・建築システム技術系 建築施工システム技術科	

※「独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構」が設置・運営するものに限ります。

(2) 短期大学卒業と同等以上と認められている訓練課程・訓練科は、次表のとおりです。
受験申込書の学校コードは、**2.短大**として記入して下さい。
なお次表にあてはまらない方は、一つ前の学歴が最終学歴となります。

施設名(50音順)	訓練課程・訓練科		学科コード
青森県立青森高等技術専門校	普通課程	環境土木工学科	01
岩手県立産業技術短期大学校水沢校	専門課程	建築設備科	10
岩手県立産業技術短期大学校	専門課程	居住システム系 建築科	
大分県立工科短期大学校	専門課程	住居環境科	
岐阜県立国際たくみアカデミー職業能力開発短期大学校	専門課程	建築科	
熊本職業訓練短期大学校	専門課程	居住システム系 建築科	
高知県建設職業能力開発短期大学校	専門課程	土木システム工学科	01
埼玉県立中央高等技術専門校	普通課程	空調システム科(平成24年度以降の入学者)	08
島根県立出雲高等技術校	普通課程	土木工学科	01
島根県立東部高等技術校	普通課程	住環境・土木科	
職業訓練短期大学校　※	専門課程	総合土木科	
職業能力開発総合大学校　※	特定専門課程	居住システム系 建築科	10
職業能力開発大学校　※ 職業能力開発短期大学校　※	専門課程	居住システム系 住居環境科	
		居住システム系 建築科	
長崎県立長崎高等技術専門校	普通課程	建築施工系 木造建築科	
北海道立札幌高等技術専門学院	普通課程	建築設備科(平成29年度以降の入学者)	08
山形県立産業技術短期大学校	専門課程	建築環境システム科	10
		土木エンジニアリング科(平成29年度以降の入学者)	01

※「独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構」が設置・運営するものに限ります。
※宮城職業訓練短期大学校　電気科を卒業された方は、短期大学の指定学科以外卒業と同等として取り扱います。